

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

静岡県 磐田市

自治体名：静岡県磐田市

担当課名：放課後活動課

電話番号：0538-37-4828

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	総面積163.45 km ²
人口	165,426人 (R6.12現在)
公立中学校数	10 校
公立中学校生徒数	4,444 人 (R6.5現在)
部活動数	102 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

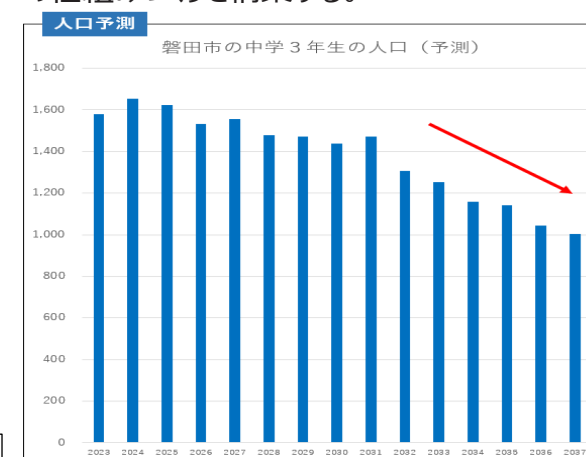
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

磐田市では、10中学校で102の運動部活動が行われているが、部員不足等の理由から単独で活動が成り立たない部も生じており、今後そのような状況はさらに進むことが想定される。合同チームで大会に出場したり、合同部活動を設置したりする学校もある。また、運動部活動顧問の約半数が競技経験のない部活動で指導しており、指導に対して難しさを感じている教員も多い。

そこで、すべての中学生が自分の興味・関心に応じ選択可能な充実した放課後活動の環境を提供すること、そして持続可能な活動としていくことを目的とし、磐田市教育委員会が運営事務局となり、本年度から新たな地域クラブ活動

「SPO☆CUL IWATA（スポカル イワタ）」をスタートした。当面は、原則休日のみの活動とし、学校部活動種目以外を中心に開設している今後、令和8年度の休日移行実施に向け、部活動種目のクラブ開設、移行を進めていく。

財源は受益者負担を基本とするが、保護者の費用負担の軽減や経済的困窮家庭への支援、クラブ運営の補助等、持続可能な取組のための財源を確保していく必要がある。また、指導者の量の確保、資質の向上に向けた取組を進めていく。さらに、学校施設や市公共施設の使用方法（優先利用）や使用料、設備・備品の利用等の仕組みづくりを構築する。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・放課後活動課…地域クラブ活動の企画・運営に関すること
- ・学校部活動の再編に関すること
- ・指導者や財源の確保に関すること

◎首長部局

- ・スポーツのまち推進課、文化振興課、自治デザイン課、経済観光課
- …学校体育施設、市公共施設の利用に関連すること

年間の事業スケジュール

令和6年4月	参加者募集
令和6年5月～	地域クラブ活動開始（4クラブ）
令和6年5月	「SPO☆CUL IWATA」開始式 第1回指導者研修会
令和6年6月	種目別検討会①
令和6年7月	地域クラブ活動 2クラブ追加 部活動地域移行推進協議会①
令和6年8月	地域クラブ活動 1クラブ追加 中学校長意見交換会①
令和6年9月	地域クラブ活動 1クラブ追加
令和6年10月	種目別検討会②
令和6年11月	部活動地域移行推進協議会② 中学校長意見交換会②
令和7年1月	第2回指導者研修会 種目別検討会③
令和7年2月	「SPO☆CUL IWATA」活動報告会 中学校長意見交換会③
令和7年3月	「SPO☆CUL IWATA」地域説明会

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	10 校	実施した地域クラブ総数	8 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		0 クラブ（0 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		8 クラブ
全体の指導者・運営スタッフ数	41 人		

令和6年度 磐田市地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」
参加者 募集案内

今年度より、学校部活動とは別に、磐田市地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」がスタートします。参加を希望する生徒は、募集に関する事項をよく確認し、申し込みをしてください。

I 募集受付期間
令和6年4月12日（金）～4月19日（金）

II 申込方法
スクール運営プラットフォーム「Sgrum」で行います。
※ 手順については、別紙をご覧ください。
スマートフォン等への「Sgrum アプリ」のインストールが必要です。

III 参加費
2,000 円/月 ③剣道クラブは、平日も活動するため 3,500 円/月
※ これに加えて、活動費が必要になるクラブもあります。詳細は、裏面で確認してください。

IV その他・留意事項

- 募集対象は、原則、磐田市立中学校の生徒全員です。ただし、クラブによっては募集対象が限定されていますので、確認の上、応募してください。
- SPO☆CUL は、学校管理外の活動です。学校で部活動に加入していても参加できます。ただし、部活動と地域クラブ活動で活動日や時間が重なったときは、原則、部活動を優先してください。
- 参加者は、スポーツ安全保険に加入します（運営事務局が一括して手続します）。
- 継続して活動に参加することが原則です。活動に参加する3年生で、希望する生徒は、卒業時まで活動に参加することができます。
- 募集定員があるクラブについては、定員を満たした時点で募集を締め切ります。
- クラブを休会、もしくは退会するときは、クラブ指導者に連絡し、所定の手続きをしてください。
- 参加費などの未納金があるときは、退会日までに完納してください。また、一旦入金された参加費は、返金しないものとします。ただし、運営事務局が認めるときはこの限りではありません。
- 参加者は、クラブの活動に際し、クラブの定める諸規定及び指導者の指示に従い行動するものとします。これを無視して盗難、傷害、器物破損等の事故が発生した場合、運営事務局、クラブ及び指導者は一切損害賠償の責を負いません。
- 参加者が以下のいずれかに該当する場合は、クラブと運営事務局が協議し、その参加者、保護者に退会を勧告することがあります。
 - クラブの名譽、信用を傷つけ、またはクラブの秩序を乱した場合
 - 指導者及びクラブの指示に従わないことが顕著な場合
 - その他、クラブ及び運営事務局が会員としてふさわしくないと判断した場合

V 募集クラブ ①～⑦について参加者を募集します。

① ボクシング
電洋ボクシングクラブ
① 佐藤 文俊
② 日曜日 14:00～17:00
③ 電洋ボクシングクラブ 練習場（磐田市雄馬 町）
④ ボクシングに必要な総合的トレーニング
⑤ 1,200 円/月
⑥ 募集定員 25 人
⑦ s2060prjqx

② バドミントン
SBC 磐田
① 佐々木 薫
② 土曜日又は日曜日
③ ヤマハ発動機体育館他
④ バドミントンの基礎練習、ゲーム
⑤ なし
⑥ 募集対象は、城山中・神明中の生徒
⑦ s8360nobl

③ 剣道
SPO☆CUL 剣道クラブ
① 大場 隆史
② 火・木・金 17:30～19:00 土 9:00～12:00
③ 磐田剣道連盟道場（中央公園「ラクト」南）
④ 剣道の基本稽古、試合
⑤ 1,000 円/半年
⑥ 参加費 3,500 円/月 募集対象は、中学校の剣道部に所属していない生徒
⑦ b2260sbutc

④ サッカー
South サッカークラブ
① 後藤 裕
② 原則 日曜日の午前中（部活動がない日）
③ 磐田一中「グラウンド」他
④ サッカーの基礎技術向上・体力づくり
⑤ なし
⑥ サッカー部に所属していてもなくても参加可能
⑦ s1860fwal

⑤ 合唱（6月から活動）
SPO☆CUL 合唱クラブ
① 金原 匠歩
② 原則 土曜日
③ 城山中 音楽室
④ 発声基礎練習、合唱地域での演奏
⑤ なし
⑥ 募集対象は、城山中以外の生徒 城山中合唱部と合同で活動します
⑦ m3260gjgko

⑥ 弦楽
SPO☆CUL 弦楽クラブ
① 神農 清志
② 原則 土曜日
③ 電洋中 多目的ホール
④ 個人、パート、合奏練習
⑤ 未定
⑥ 募集対象は、電洋中以外の生徒 電洋中弦楽部と合同で活動します
⑦ m3260qphqz

⑦ 吹奏楽（9月から活動）
磐田ユースワインドオーケストラ
① 平松 浩一郎
② 原則 月3回 日曜日 8:45～12:00
③ 市内交流センター 他
④ 個人、パート、合奏練習 コンサート
⑤ 1,200 円/月
⑥ 募集対象は、中学校吹奏楽部に所属する生徒
⑦ m3260prhuy

【参加に関する問い合わせ先（運営事務局）】
磐田市教育委員会放課後活動課 部活動地域移行推進グループ 電話 374828

【記載内容】
競技・種目名
クラブ名
① 代表者名
② 活動日
③ 活動場所
④ 主な活動内容
⑤ クラブ活動費
⑥ その他
⑦ スクールID（申込時に使用）

今後開設予定のクラブもあります。開設が決定次第、改めて募集します。
7吹奏楽については、7月まで募集します。

公益財団法人スポーツ安全協会
For Fun Sports & Cultural Activities
当事業は、スポーツ安全協会、スポーツ普及振興財団協会の協力を得て実施しています。

令和6年4月
「SPO☆CUL IWATA」募集案内

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること ※ 参加費2,000円／月

クラブ名	運営団体 種別	種目 ※新規のものは末尾に（新） を付ける	実施回数	実施時 間帯	参加者 (学年別)	実施期 間	活動場所	指導者・ス タッフ数	活動費 (参加費とは別)	大会参加
竜洋ボクシング クラブ	磐田市教育委員会	ボクシング（新）	週1回（日曜日）	14時 ～17時	1年：1	5月～	竜洋ボクシン グクラブトレー ニング場	5人	月1,200円	なし
SBC磐田	磐田市教育委員会	バドミントン（新）	月3回程度 （日曜日を基本）	17時 ～19時	2年：4 1年：4	5月～	磐田市総合 体育館 等	6人	0円	なし
Southサッカー クラブ	磐田市教育委員会	サッカー（新）	週1回（日曜日）	19時 ～21時	3年：1 1年：3	5月～	磐田第一中 グラウンド	9人	0円	なし
スポカル磐田 剣道クラブ	磐田市教育委員会	剣道（新）	週1回（土曜日）	9時 ～12時	3年：1 2年：2 1年：4	5月～	磐田剣道連 盟 道場	3人	半年6,000円	地域クラブ で参加
SPO☆CUL ダンスクラブ	磐田市教育委員会	ダンス（新）	月3回 （土曜日か日曜日）	午後で 1時間半	3年：1 2年：1 1年：10	7月～	豊岡中央交 流センター他	3人	0円	なし
クラブ空手道 極真館	磐田市教育委員会	空手（新）	週1回（水曜日）	18時半 ～20時	1年：1	7月～	竜洋体育セ ンター	2人	月1,000円	なし
スポカル磐田 空手道クラブ	磐田市教育委員会	空手（新）	週2回 （月曜日と土曜日）	19時 ～21時	2年：1 1年：3	8月～	磐田市騒動 体育館 磐田南小	10人	0円	なし
ふじゴルフ 倶楽部	磐田市教育委員会	ゴルフ（新）	週1回（土曜日）	14時 ～16時	2年：2 1年：1	9月～	インドアゴルフ 磐田	3人	0円	なし

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- <2月> SPO☆CUL見学・体験会の実施（対象：小6、中1・2）

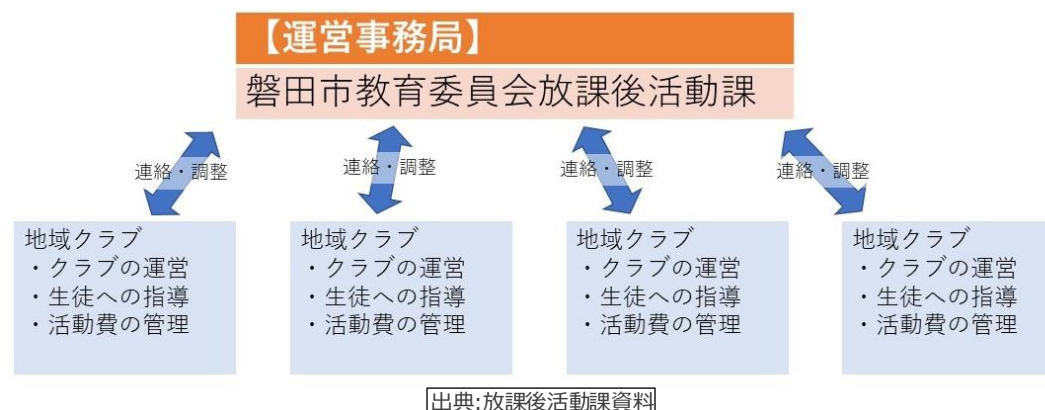
2.実証内容と成果

主な取組例

●「SPO☆CUL IWATA」活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ボクシング、バドミントン、剣道、サッカー、ダンス、空手、ゴルフ	
運営団体名	磐田市教育委員会放課後活動課	
期間と日数	5月～ 4クラブ 7月～ 2クラブ 8月～ 1クラブ 9月～ 1クラブ	週2回 1クラブ 週1回 5クラブ 月3回 2クラブ
指導者の主な属性	地域の指導者	
活動場所	市内公共施設、各クラブ所有施設	
主な移動手段	保護者等による送迎、自転車	
1人あたりの参加会費等（年額）	○ 参加費 24,000円 ○ 活動費 ・12,000円 2クラブ ・14,400円 1クラブ	
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年	

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●運営事務局（磐田市教育委員会放課後活動課） 3名

- 役割 (1)参加生徒の募集
(2)参加費の徴収
(3)参加生徒、指導者の保険加入
(4)各クラブとの連絡、調整
(5)指導者の勤務把握、指導者謝金の支払い
(6)指導者研修会の開催（年2回）
(7)クラブ代表者会の開催（年2回。5月、2月）
(8)その他、磐田市地域クラブ活動全体に関すること

●クラブ指導者（クラブによる）

- 役割 (1)クラブの運営（練習計画の作成、生徒・保護者への連絡 等）
(2)生徒への指導（実技指導、生徒指導）
(3)活動費の徴収・管理

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○市教育委員会が運営事務局となり、地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」を運営し、地域で活動する団体や個人による参画について、要件や基準を設定し、活動を認可する。

○運営の効率化、負担軽減のため、参加者入会事務や管理、会費徴収、参加者・指導者への連絡等にICTを活用する。

取組の成果

○学校部活動にない種目を中心に募集した。当初、5クラブを想定していたが、令和7年1月現在で8クラブ開設できた。

○参加した中学生40人を対象にしたアンケートの結果、96%の生徒が「スポカルの活動に満足している」と回答し、充実した活動ができていたと伺える。

○令和6年3月に㈱ユーフォリアと連携協定を締結し、連絡機能、会費徴収機能を有する運営管理アプリ「Sgrum」を活用した。（令和6年度はトライアル）運営事務局、指導者、生徒間の連絡がスムーズにできた。参加費の徴収もアプリ内で完結でき、未納者がいない。参加した生徒の保護者40人のアンケートの結果、入会手続きや支払方法が分かりやすいと回答した保護者が7割、指導者への連絡がしやすいと回答した保護者が6割で、概ね高評価だった。

今後の課題と対応方針

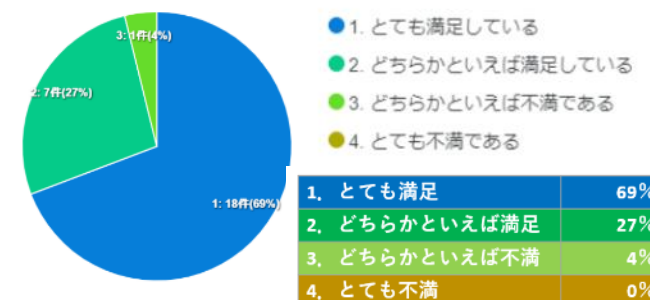
○中学生の選択肢を広げるため、既存の学校部活動種目以外のクラブをさらに開設する。

（令和7年度はさらにトランポリン、女子ラクロス、eスポーツを開設予定）

○運営管理アプリの導入1年目で、まだまだ操作に慣れないと感じている保護者や指導者もいる。

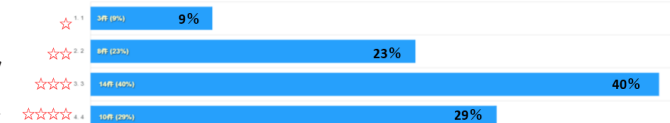
D Xの活用をさらに推進する。

今年度からスポカルが始まりました。あなたは、スポカルの活動に満足していますか。

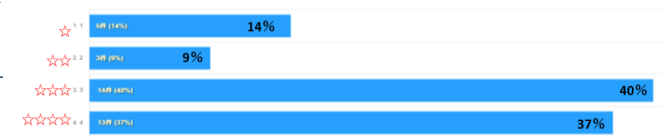


「Sgrum」について

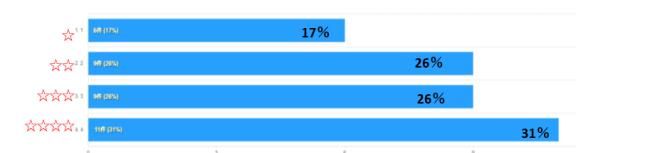
① 申し込み方法は分かりやすかったですか。



② 支払方法は分かりやすかったですか。



③ 使いやすかったですか。



令和6年11月 生徒・保護者アンケートより

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

○令和5年9月に市教育委員会が設置した地域指導者人材バンクを活用し、指導者を確保する。

○スポーツ協会、競技団体、大学、企業等に働きかけ、指導者を確保する。

○クラブ指導者に対して、研修会を実施する。

人材バンクの人数

52名（R7.2現在）

人材バンクの年齢構成

10代	2名
20代	8名
30代	7名
40代	14名
50代	10名
60代以上	10名
不明	1名

登録者属性

職業

・会社員	20名
・自営業	11名
・公務員	4名
・無職	9名
・パート	2名
・非常勤講師	1名
・NPO法人代表	1名
・大学生	3名

種目

・陸上競技	9名
・野球	7名
・バレーボール	5名
・サッカー	6名
・バスケットボール	3名
・柔道	2名
・ダンス	2名
・その他スポーツ	6名
・文化系	13名

（延べ人数）

資格有無

有資格者 23名
(57.5%)

<資格名>

・JSPO公認	5名
・各種協会公認	11名
・部活動指導員検定	
・理学療法士 等	

取組の成果

○ホームページや広報誌に公開したり、スポーツ協会へ働きかけたりして、52名の登録者を確保できた。そのうち、7名の登録者を運動部の部活動指導員として任用した。また、ダンスの登録者は地域クラブを立ち上げた。

○令和7年3月に、地域クラブ活動に参加し、中学生の活動を支援しようと考えている団体、個人や競技協会、連盟、少年団等を対象に、「SPO☆CUL IWATA」説明会の開催を予定している。事業の概要や参画要件等の説明を行う。地域への理解を広め、今後、参画団体を募集し、令和8年度の休日完全実施につなげる。

○5月、1月に、指導者研修会を開催した。5月は「子ども理解」、1月は「救命救急」をテーマに行った。1月は、本市にある静岡産業大学スポーツ科学部と連携して行った。

地域指導者、大募集!!

※本市では、部活動の地域移行に向けて、地域の皆様と協働・融合して進めています。そのためには、指導者の確保が重要です。
※本市立中学校の部活動や地域クラブ活動に対して、指導体制の充実を図ったり、支援に対して実施の補助指導を行ったりするための、専門的な知識、技能等を持っている方に地域指導者人材バンク（以下、「人材バンク」という。）へ登録していただき、支援・指導できる人材を確保します。

人材バンクへ登録したら…

① 学校からの要請があれば、部活動指導員や外部指導者として任用・委嘱します。

種目	登録料	活動料
陸上、球技	1,000円	1回2,000円 （※1回あたり）
その他		

② 地域クラブからの要請があれば、指導員として参加します。

新たな地域クラブ「(仮称) SPO☆CUL IWATA」において、指導者の配置が確保された場合には、指導員として参加します。条件があれば、地域クラブで指導することが可能です。

※ 詳しくは静岡市教育委員会ホームページをご覧ください。

人材バンクへ登録するには…

① QRコードから、「地域指導者人材バンク」に入り、必要事項を記入して送信するだけで登録できます。
② 学校や地域クラブからの要請があれば、静岡市教育委員会放課後活動課から連絡します。静岡市の子どもたちのため、まずは登録から！よろしくお願いします。

【お問い合わせ】 静岡市教育委員会放課後活動課 部活動地域移行推進グループ (37-4828)

←人材バンク募集チラシ

→地域説明会のチラシ

静岡市 中学校部活動の地域展開
SPO☆CUL IWATA 説明会
静岡市では、令和6年9月より、休日の部活動に代わる活動として、地域クラブ活動（仮称SPO☆CUL IWATA）を推進し、イワタ市に実施します。

日時 令和7年3月17日（月）
18時30分 開会

場所 ワークピア静岡 多目的ホール

対象 ・地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」に参加し、中学生の活動を支援しようと考えている団体、個人。
・競技協会、連盟、少年団 等
※参加は自由ですが、当日会場にお越しください。

問い合わせ： 静岡市教育委員会放課後活動課 部活動地域移行推進グループ
0538-37-4828

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

【対象】・地域クラブ指導者 ・部活動指導員
・外部指導者 ・人材バンク登録者（大学生のみ）

【内容】

＜第1回＞

①指導者としての考え方 ②子ども理解からよりよい集団へ

＜第2回＞

部活動や地域クラブ活動におけるリスクの存在と緊急時対応

【工夫した点】

・第1回は、種目に関係なく大切である子ども理解を扱った。教員の時に学んだ知識や経験を生かしたワークショップを行った。

・第2回は、講師を静岡産業大学スポーツ科学部准教授中井真吾氏に依頼した。緊急時対応についての研修動画を作成した。

指導者研修の参加実績

＜第1回＞

日時 令和6年5月13日（月）19:00～20:00（対面）

参加人数 39人／62人 ※欠席者はレポートを提出

＜第2回＞

日時 令和7年1月20日（月）～2月21日（金）

この期間内の都合の良い時間（オンデマンド）

参加人数 56名／108名（R7.2.26現在）

受講者の声

＜第1回＞

○「スポーツを学ぶ」ではなく「スポーツで学ぶ」というフレーズが印象的だった。スポーツをしているとどうしても勝ち負けや順番にこだわってしまいがちだが、子供たちが人としてどれだけ成長したか？自分自身や仲間のことをしっかり認めることができたか？そう言う部分に着目して指導していけるように心掛けたい。

○子供の数が減っていく中で、より広い種目の部活動を選択出来る機会や、地域の外部指導者・大人たちとの係わり、他校の生徒たちの繋がりが増えて、心身ともに健全な青少年育成に務めていきたいと感じる。

＜第2回＞

○運動することには、事故や熱中症など常にリスクが存在するため、救命措置の仕方や練習前の体調チェック、水分摂取などの重要性を忘れず、安全確保を最優先で指導するようにしなければと改めて理解できた。

○怪我、事故の要因は色んなところにある、予想していないことでの事故にも対応できるよう、事前に危険箇所の確認、予防は必要。AEDなども慌てずに使用できるように講習会など参加したい。

今後の課題と対応方針

○指導者の質の向上、量の確保のために、人材の確保とともに中学生への指導に興味をもつ人材を増やしていくことが必要である。磐田市では、来年度から地域クラブでの指導を考えている方に向けての研修会を行い、指導者発掘・育成に努めていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化 / エ：面的・広域的な取組

取組事項

○学校や地域と連携して進めていくため、部活動地域移行推進協議会や種目別検討会、中学校校長意見交換会等において、本市の取組及び今後の見通し等の説明や諸問題の検討する。また、地域クラブ活動への移行を推進する。

○本市にある大学やプロスポーツチーム、NPOと連携し、指導者研修プログラムを整備する。

○プロサッカークラブ「ジュビロ磐田」と連携し、サッカー種目の受け皿づくりに向けて、「ジュビロ中学生サッカースクール」を開校する。

取組の成果

○部活動地域移行推進協議会や種目別検討会、中学校校長意見交換会を通して、本市の取組や今後の見通し等の説明だけでなく、課題・問題の検討も行い、学校や地域の声に耳を傾けながら推進することができた。また、種目別検討会では、中学校長や各部活の顧問と意見交換する場を設けた。3月にSPO☆CUL IWATAクラブ体制（再編型）の1次案を公表する予定である。

○大学や市のスポーツ所管課からの研修案内を積極的に周知し、多くの機会を提供した。

○「ジュビロ中学生サッカースクール」では、水曜日の17時から18時30分で、中学校のグラウンドを利用している。令和7年2月現在、14名が参加している。

種目別検討会	SPO☆CULのエリア設定の意見（第2回までのまとめ）	その他の動き
野球	4エリア（案：①一中・城山・神明②南部・福田・竜洋③豊田・豊田南④豊岡・向陽）	
バレー	男子 2エリア（案：①城山②神明・豊田） または1エリア 女子 4から5エリア スポ少があるところを生かして	
ソフトテニス	男子 3エリア（案：①一中・城山・向陽・神明②豊岡・豊田・豊田南③南部・福田・竜洋） 女子 4エリア（案：①一中・城山②向陽・神明③豊岡・豊田・豊田南④南部・福田・竜洋）	
卓球	5エリア	地域のクラブ
バスケット	男子・女子 4エリア （案：①豊岡・豊田・豊田南②城山・向陽・神明③一中・南部④福田・竜洋）	
サッカー	5エリア	地域のクラブ
剣道	SPO☆CULは1クラブ（道場に入るまではいかない生徒） あとは道場での練習ではないか。（4中学の母体の道場）	磐田剣道連盟 道場
水泳	スイミングに任せるのも1つの方法。 スポカルのクラブが1つあるといい。	福田屋内 （JSS）
陸上	休日にかぶと家で市内全域で種目別。 平日は部活？エリアで活動？ 協会登録は学校単位でないと、出場制限がある。	
吹奏楽	5エリア	磐田マスコット 磐田吹奏楽団

これまでの取組から（案）

ソフト	1クラブ（合同部活動をクラブに。募集を市内全域に）
柔道	1クラブ（合同部活動をクラブに。募集を市内全域に）
弦楽	1クラブ（SPO☆CUL 弦楽クラブと竜洋中弦楽部が1クラブに）
合唱	1クラブ（SPO☆CUL 合唱クラブと城山中合唱部が1クラブに）
その他文化節	参画クラブの状況による（再編・新設はしない方向）

出典：第3回種目別検討会 資料

部活動運営協議会について

- ・日時 ①7/29 ②11/5 ③1/27
- ・参加者
スポーツ協会会長、文化協会顧問、PTA代表、校長、教頭、教員、関係市職員
- ・主な内容
 - ① 令和6年度の取組について
 - ② ロードマップの改訂案について
 - ③ 学校部活動からの再編への取組について

種目別検討会について

- 実施月 ①5・6月 ②9・10月 ③1・2月
- 実施種目 バスケットボール、ソフトテニス、吹奏楽
サッカー、バレーボール、水泳、野球
陸上競技、剣道、卓球

中学校長意見交換会について

- 日時 ①8/6 ②11/13 ③2/18

今後の課題と対応方針

○3月に公表するSPO☆CUL IWATAクラブ体制（再編型）を基に、指導者の募集・配置、入会希望調査等を実施し、令和8年度開始に向けて体制を整備する。

○プロスポーツチーム等を中心としたスポーツ資源の活用をさらに推進していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

○学校部活動にない種目を中心に、8種目8クラブを開設した。

（ボクシング、バドミントン、サッカー、剣道、ダンス、極真空手、空手、ゴルフ）

※サッカーと剣道については、大会参加をせず、教室的な活動を行っている。

○11月に小学4年生～6年生を対象とした「ニーズ調査」を行い、SPO☆CUL IWATAクラブ体制整備の参考資料とした。

○2月に来年度の中학생や保護者に活動内容を理解していただき、これからやりたいことを見つけたり、地域クラブに対する不安を解消したりする機会とするため、「SPO☆CUL見学・体験会」を実施した。現在活動している8クラブに加え、来年度参入予定のトランポリン、女子ラクロスも行った。

SPO☆CUL IWATA 活動の詳細

参加人数	40 人	指導者数	41 人
属性	磐田市教育委員会放課後活動課が運営事務局		
具体的な内容	ボクシング…競技に必要な総合的トレーニング バドミントン…バドミントンの基礎練習、体力向上、練習試合 サッカー…基礎体力作り、サッカーの基礎練習 剣道…礼儀・礼節・所作の習得、基本稽古 ダンス…ダンスの基礎習得、グループでの創作活動 極真空手…正しい基本・型・組手の習得 空手…空手の型・組手の習得（防具あり寸止めルール） ゴルフ…ゴルフの基本技能の習得（パター、アプローチ等）		
子供の声	● バドミントンに興味があったが、学校の部活動になかったためうれしい。 ● 自分が好きな種目で活動できる。 ● 他の学校の友達ともかかわれて楽しい。		
関係者の声	● 指導者が厳しい中でも愛情のある指導をしてくれている。（保護者） ● 他校の生徒と交流ができ、刺激のよい影響を受けている。（保護者） ● 子どもが学校の部活動にない活動を通して、自分の興味のあることに取り組んでいる。（保護者） ● 中学生のみなのでレベルが統一できて指導しやすい。（指導者） ● 改善点や取り入れていきたいことなどに事務局がいつも迅速かつ親身に対応してくれる。（指導者）		
運営経費	参加費 2,000円／月（共通） ※ クラブによって活動費を徴収している。 ・ボクシング 1,200円／月 ・剣道 1,000円／月 ・極真空手 1,000円／月		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

○参加した中学生40人を対象にしたアンケートの結果、「SPO☆CUL IWATA」で活動してよかったと思うこととして、主に、友達と楽しく活動できる(58%)、自分の興味・関心にあった活動ができる(46%)、他の中学校の生徒と一緒に活動できる(46%)、できることの喜びを感じて取り組める(46%)等が挙がり、参加生徒が地域クラブ活動の良さを感じて取り組んでいた。また、昨年度のニーズ調査で、やってみたい種目として多くの児童が回答したバドミントン、ダンスを開設することができ、生徒の多様化に対応した取組ができた。

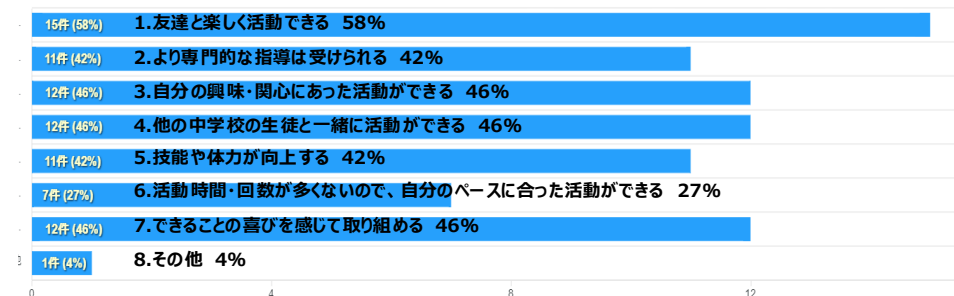
○「SPO☆CUL見学・体験会」では、67名の小学6年生、中学1年生が申し込みをした。各クラブが工夫して取り組み、次年度以降の放課後活動について考えるきっかけづくりになった。

今後の課題と対応方針

○まだ平日・休日ともに学校部活動を並行して取り組んでいるため、参加者数の確保が難しかった。活動できなかつたり、人数が少なくて活動が難しかったりするクラブもあった。多くの生徒が参加できるよう、いろいろな形で周知したい。

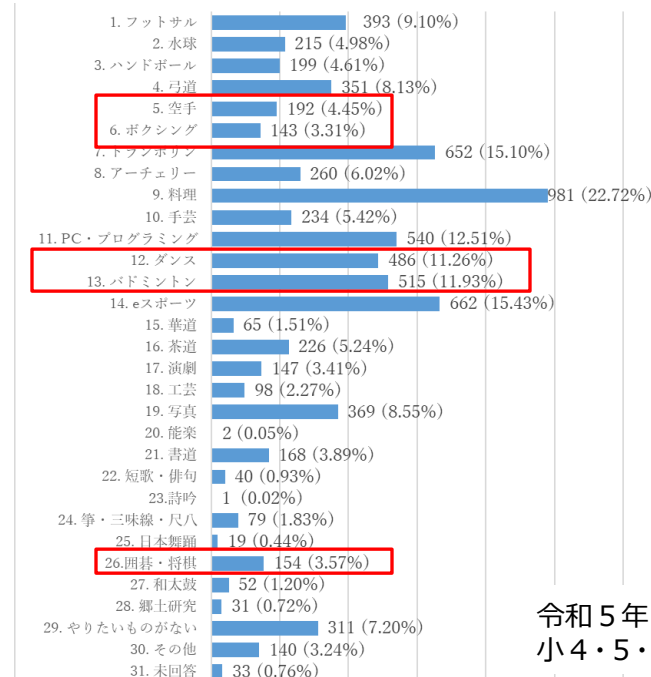
○来年度、トランポリン、女子ラクロス、eスポーツのクラブを開設する予定である。多くの生徒が自分の興味・関心をもつ活動ができるよう、積極的に周知してクラブ数を増やしていきたい。

「SPO☆CUL IWATA」で活動してよかったと思うことは何ですか。(複数回答可)



令和6年11月 生徒・保護者アンケートより

部活動以外で、あなたがやってみたいものは何ですか？(2つまで)



…開設種目

ニーズの高い種目を
中心にクラブを開設した

令和5年7月
小4・5・6対象ニーズ調査より

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組事項

○持続的な活動を前提とした仕組みを検討する。（受益者負担、市自主財源、外部資金の活用等）
○経済的困窮家庭への支援を検討する。

地域クラブに係る経費

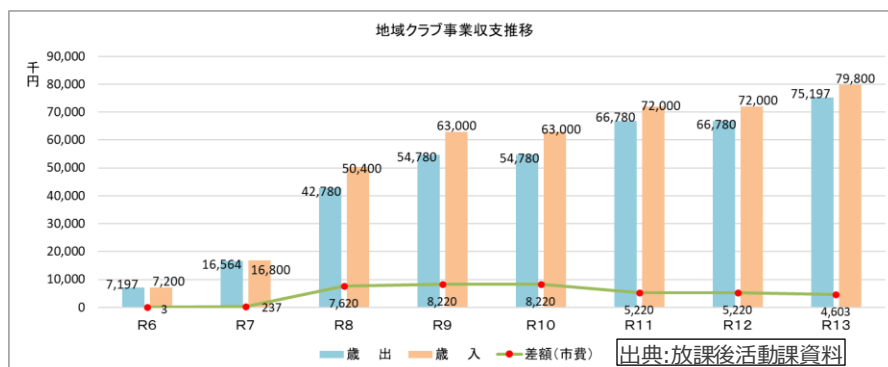
■イニシャルコストの分析

- ・救急セット（30千円）
- ・熱中症指数計（47千円）
- ・参加者、指導者保険料（267千円）

■ランニングコストの分析

- ・指導者謝金（6,912千円）
- ・システム決済手数料（443千円）

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算



○歳出は主に指導者謝金、参加者・指導者保険料、システム使用料と決済手数料となる。持続的な運営を可能にするための金額となるように検討した。平日・休日ともに移行が完了する令和13年度において、月2,000円であれば概ね収支バランスが整うと算出した。なお、各クラブに必要な活動費は別で考えている。

取組の成果

○参加した中学生の保護者40人を対象にしたアンケートの結果、参加費・活動費が高すぎると回答した方が1人だった。概ね適正な金額設定であると感じた。また、参加費の徴収にD Xを活用した。未納者はいなかった。
○地域クラブ活動を持続的・安定的に運営していくための財源確保として、参加生徒の費用負担軽減のため、地域クラブ活動支援基金「SPO☆CUL IWATA応援ファンド」の取扱いを開始した。

今後の課題と対応方針

○今後、企業等へ働きかけたり、企業版ふるさと納税を活用したりして、寄付等を募り、さらなる財源の確保に努めていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

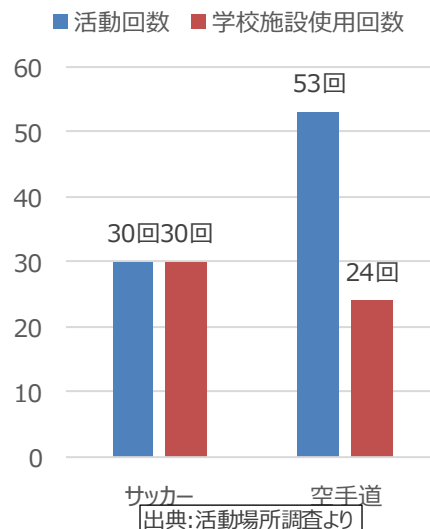
●取組項目名 キ：学校施設の活用等 / ク：その他の取組

取組事項（キ）

- 学校施設・設備・備品等を使用して地域クラブが実施する際のルール等を策定する。
- 学校施設を使用する際の優先利用や使用料減免の仕組みをつくる。

取組の成果（イ）

○「SPO☆CUL IWATA」地域クラブが学校施設等の市内公共施設を利用する際は、関係各課と調整し、使用料が免除になった。
○2クラブが民間クラブと同様のルールで学校施設を利用した。



取組事項（ク）

○まずは休日の活動からスタートするが、可能なクラブは平日の活動も実施する。

取組の成果（ク）

○極真空手、空手の2クラブは、平日の活動も実施した。どちらも学校部活動を実施していない月・水曜日とし、学校部活動に参加していても活動できるように配慮した。



今後の課題と対応方針

○SPO☆CUL IWATAクラブ体制（再編型）が整ったり、学校内施設を利用するクラブができたりする時に備え、地域クラブが実施する際のルール等を検討していく。

○来年度は引き続き平日・休日ともに学校部活動が行われるため、部活動に所属している生徒に配慮しながら進めていく。

成果・課題・今後に向けて

●成果

- 本年度は、学校部活動以外の種目を中心に、8クラブ開設した。それぞれのクラブで創意工夫して活動が展開できた。参加者の96%が「満足している」と回答し、充実した取組となった。
- 5月、1月に指導者研修会を開催した。1月については、講義内容を専門とする静岡産業大学スポーツ科学部准教授に講師を依頼した。
- 令和8年度の休日の地域移行に向けた、部活動からの再編型クラブのあり方について、中学校長や各部活の顧問と意見交換する場を設けた。3月にSPO☆CUL IWATAクラブ体制（再編型）の1次案を公表する予定である。
- 生活困窮家庭の参加費や各クラブの活動費の支援のために、地域クラブ活動支援基金「SPO☆CUL IWATA応援ファンド」を創設した。

●課題

- 運営管理アプリの導入1年目で、まだまだ利用しにくいと感じている保護者や指導者もいる
- 1クラブあたりの参加生徒が少ない
- SPO☆CULクラブ体制（再編型）の1次案を実現するための環境整備
- 地域クラブ活動支援基金「SPO☆CUL IWATA応援ファンド」を生かした参加者支援方法の検討

●今後に向けて

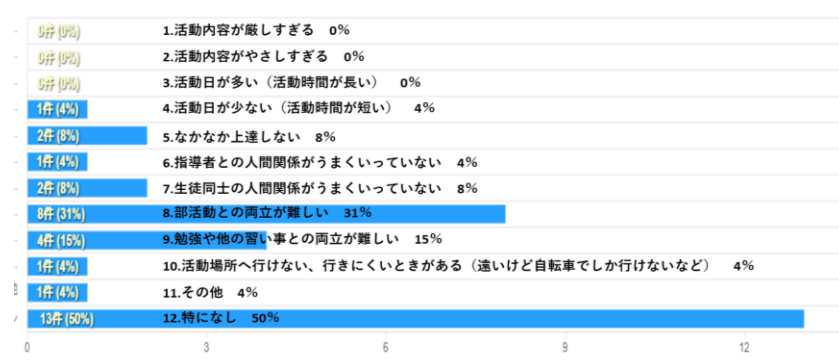
- ホームページやたよりを活用して、生徒や保護者への周知により一層力を入れる。
- 指導者の掘り起こしと研修の充実のため、NPO法人や大学と連携して取り組む。
- 企業等へ働きかけたり、企業版ふるさと納税を活用したりする等、さらなる財源の確保に努めていく。



2.実証内容と成果

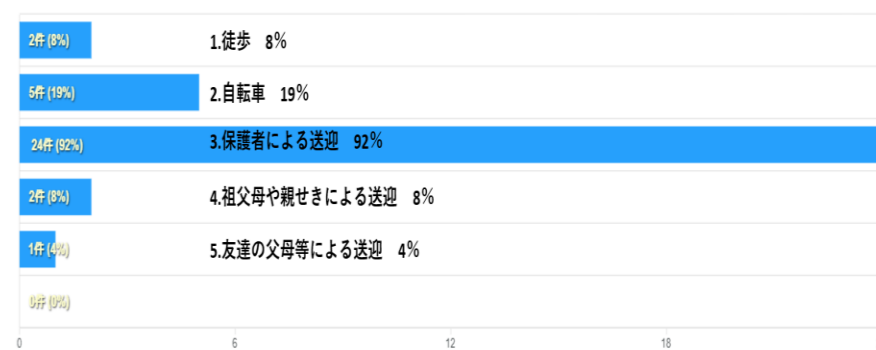
主なアンケート結果

(生徒) Q.SPO☆CUL IWATAで活動する上での悩みはありますか？



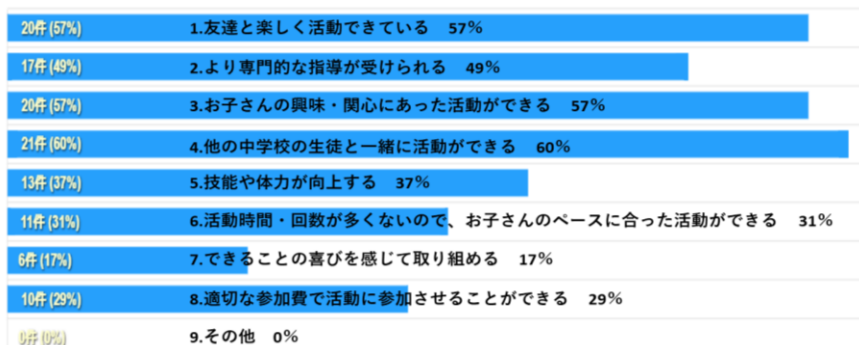
特になし生徒が多いものの、部活動との両立が難しいと回答した生徒もいる。

(生徒) Q.地域クラブの活動場所への移動手段は何ですか？



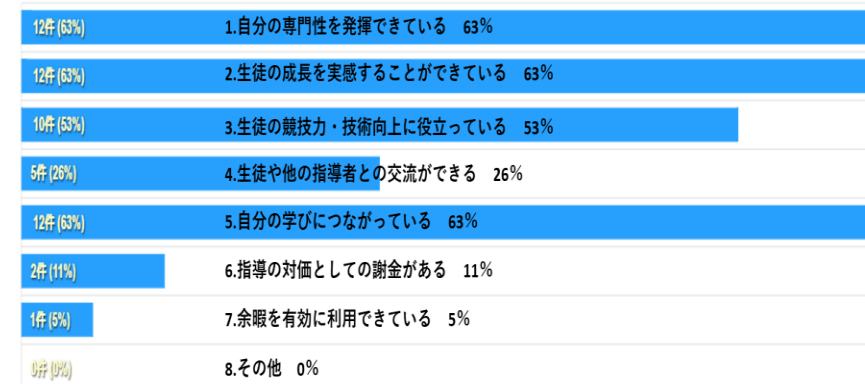
ほとんどの生徒が保護者による送迎だった。

(保護者) Q.お子さんがSPO☆CUL IWATAで活動してよかったと思うことは何ですか？



他校の友達と一緒にだったり、興味関心にあたりする活動ができることによさを感じている。

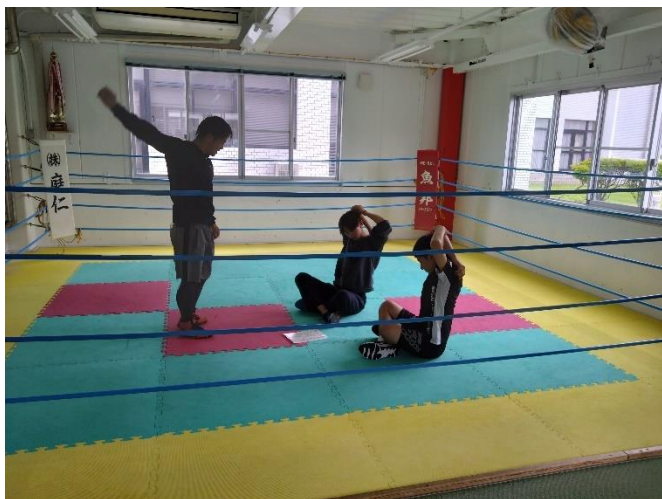
(指導者) Q.地域クラブの指導者になってよかったと思うことは何ですか？



自分の学びにつながっていると感じている指導者が多い。

2.実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【ボクシングクラブ ストレッチの様子】



【サッカークラブ 学校施設を利用】



【ダンスクラブ 創作活動】



【トランポリンクラブ 見学・体験会】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

協議会設置

令和5年

グランドデザイン
ロードマップ
公表

地域クラブとの
打合せ
活動開始準備

令和6年

地域クラブ活動
の開始

SPO☆CUL IW
ATA活動報告会
次年度に向けて
の準備

令和7年

地域クラブ活動
の拡充
(クラブ数の増
加)

●ステークホルダー

運営事務局、地域団体や個人参画者
部活動地域移行推進協議会、学校

●経過

令和5年8月にグランドデザイン、令和6年2月に事業推進計画（ロードマップ）を公表した。また、活動ガイドラインやクラブ運営規程を定めた。

●実施内容、工夫した点等

令和6年度は8クラブ活動した。この内、6クラブは市内全域から参加

可能であり、残りの2クラブは学校部活動がなかったり近隣だったりする中学校の生徒が参加ができた。また、サッカーは市内全中学校に学校部活動があるため、大会に出場しない。剣道は、学校部活動がない学校の生徒が対象であり、中体連主催大会ではクラブとして出場した。

●実施にあたって生じた課題

指導者から会場の確保の難しいことが指摘された。学校と調整し、学校使用時間を利用できるようにしたり、クラブ所有の施設を使用したりするようにして改善を図った。

【学校部活動の再編に向けて】

●ステークホルダー

運営事務局、学校（校長、各種目顧問）

●経過

令和6年2月、教職員対象に令和6年度以降の流れについて周知した。その中で、1つの部活をクラブ化するのではなく、合同化を進めながら「SPO☆CUL IWATA」の枠組みに入れていくことや令和8年度に向けた取組について話し合っていくことを伝えた。

●実施内容、工夫した点等

軟式野球、陸上競技、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、サッカー、卓球、水泳、剣道の9種目の部活において、3回の種目別検討会を行った。各種目の生徒数や活動場所に応じた再編プランを検討できた。令和7年3月にSPO☆CUL IWATAクラブ体制（再編型）の1次案を公表する予定である。

●実施にあたって生じた課題

活動場所や生徒の移動についての課題が多かった。1クラブで2会場を利用したり近隣の学校でエリア化したりして改善策を模索していく。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	R5	R6	R7	R8	R9	R10.....R12	R13	
運営体制の構築	設立準備	「SPO☆CUL IWATA」の設立・運営						事務局委託検討 ⇒ 委託
	磐田市立部活動運営協議会の開催							
		DXシステム検討	連絡管理システム（参加受付、連絡体制等）の運用					
指導者の確保	部活動指導員・外部指導者の積極的な配置							
	人材バンク設立	地域指導者人材バンクの運用						
		教員の兼職兼業の在り方検討			指導者を希望する教員の兼職兼業			
財源の確保 (予算化)	外部資金獲得の検討	地域クラブ活動支援基金「SPO☆CUL IWATA応援ファンド」の活用						
	予算	予算	予算	予算	予算	予算	予算	
		参加費	参加費	参加費	参加費	参加費	参加費	
活動場所の確保	学校施設等関連の条例改正	学校施設等関連の改正条例における運用						
		施設の補修、改修等（必要となる場合）						
		活動場所の割り振り			必要に応じて見直し			
大会参加	学校部活動（単独・合同チーム・合同部活動）						SPO☆CUL	
補償(保険)	日本スポーツ振興センター（災害共済給付制度） 部活動			日本スポーツ振興センター 部活動（平日）			スポーツ安全協会	
	スポーツ安全協会 SPO☆CUL			スポーツ安全協会 SPO☆CUL（休日）				

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

静岡県 焼津市

自治体名：静岡県焼津市

担当課名：学校教育課

電話番号：054-626-8160

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	70.31 km ²
人口	135,924人
公立中学校数	9 校
公立中学校生徒数	3,379 人
部活動数	11 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	設置済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

少子化に伴った各部活動の部員の減少、教員数の減少のため、学校における部活動の数が減少している。そのため、生徒の部活動選択の幅が狭くなってしまった。また、部活動顧問となる教員の多忙化や生徒・保護者のニーズの多様化等により、将来的に現在のままの形で学校部活動を続けていくのは難しい状況にある。焼津市ではこのような現状や課題を踏まえ、これまで各校で大切にされてきた部活動の意義や仕組み等について今一度振り返り、持続可能な中学校部活動を目指すために、平成30年度に「焼津市部活動ガイドライン」の策定をし、改訂を重ねながら部活動指導員や外部指導者の活用とともに、部活動が教育活動の一環として適切に実施されるように支援してきた。

さらに令和2年9月の「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」を受け、将来の地域クラブ活動への移行を念頭に、令和3年度より検討を進め、令和4年度より運動部より段階的に地域クラブへの移行を開始し、令和5

年度には、文化部活動の地域移行についての検討も開始した。

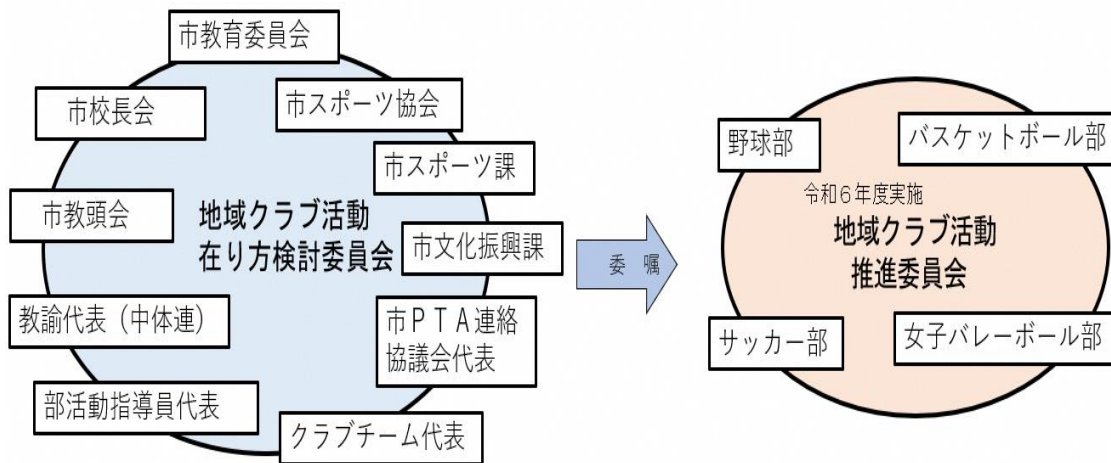
焼津市の地域クラブについて、令和6年度には17種目で活動しており、令和7年度には種目数を拡大して実施する予定である。地域クラブに参加している生徒及び保護者にとった満足度アンケートではともに90%以上の満足度となっているが、持続可能な地域クラブ活動にするために以下の課題が挙げられる。

- (1)指導者・運営代表者の確保
- (2)活動場所の確保、学校施設利用の際の調整
- (3)活動資金の確保
- (4)中体連やその他各種協会連盟主催の大会の参加規定等との関連

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・学校との施設連絡調整
- ・校長会での報告
- ・各クラブのとの連絡調整
- ・会合等の開催
- ・補助金・保険等の手続き処理

◎首長部局

- ・会合参加

年間の事業スケジュール

- 4月
 - ・焼津市地域クラブ活動の部員募集
 - ・ディレクターの任用
- 5月
 - ・16種目の活動開始
 - ・第1回焼津市地域クラブ活動推進委員会の実施
 - ・第1回焼津市地域クラブ活動在り方検討委員会の実施
- 6月
 - ・各クラブへの文書送付
 - ・活動見学
- 7月
 - ・各クラブへのアンケート調査の実施
 - ・第2回焼津市地域クラブ活動推進委員会の実施
- 8月
 - ・第2回焼津市地域クラブ活動在り方検討委員会の実施
- 9月
 - ・焼津バレーボールクラブ活動開始
 - ・第3回焼津市地域クラブ活動推進委員会の実施
- 10月
 - ・焼津市地域クラブ活動報告会の実施
- 11月
 - ・第3回焼津市地域クラブ活動在り方検討委員会の実施
- 12月
 - ・入学説明会資料送付（市内中学校）
- 1月
 - ・令和7年度募集案内作成
- 2月
 - ・焼津市地域クラブ活動指導者研修会の実施
 - ・第4回焼津市地域クラブ活動推進委員会の実施
 - ・第4回焼津市地域クラブ活動在り方検討委員会の実施
- 3月
 - ・令和7年度募集案内送付

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	9 校	実施した地域クラブ総数	14 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		8 クラブ（8 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		6 クラブ
全体の指導者数	85 人	全体の運営スタッフ数	85 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体 種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
やいづ柔道クラブ	地域クラブ	柔道	週4回	平日 学校部活動の時間 休日8:00～12:00	1年生1人 2年生2人	令和4年度から	中学校武道場	7 人	7 人	年会費 3,000 円	中体連：部活動
剣道焼津館	地域クラブ	剣道	月4回	毎週土 9:00～12:00	1年生10人 2年生14人 3年生10人	令和4年度から	市内剣道場	4 人	4 人	年会費 6,000 円	中体連：部活動
やいづ相撲クラブ	既存団体	相撲	月4回	毎週土 18:00～	1年生1人 2年生3人 3年生1人	令和4年度から	市営相撲場	4 人	4 人	月会費 1,500円 父母会費 500円	中体連：部活動

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	9 校	実施した地域クラブ総数	14 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		8 クラブ（8 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		6 クラブ
全体の指導者数	85 人	全体の運営スタッフ数	85 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体 種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
レクスポ焼津	地域クラブ	ニュースポーツ・レクリエーションスポーツ	月2回	土曜日 9:00 ～12:00	1年生6人 2年生3人 3年生5人	令和4年度から	市内中学校体育館	4人	4人	月 1,500円	各種大会： 地域クラブ活動
焼津海洋クラブ	地域クラブ	海洋体験	月2回	土or日 主に午前中	1年生4人 2年生6人 3年生9人	令和4年度から	市内漁港 市内県立高校校	5人以上	5人以上	月 1,500円	不参加
焼津アスレチッククラブ	地域クラブ	陸上競技	週1～3回	平日 17:00or 17:30～ 夕暮れ前 休日 午前or午後	1年生9人 2年生5人 3年生24人	令和5年度から	市内中学校グラウンド 市内陸上競技場	4人	4人	3か月 5,000円	中体連：部活動と地域クラブ活動

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	9 校	実施した地域クラブ総数	14 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		8 クラブ（8 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		6 クラブ
全体の指導者数	85 人	全体の運営スタッフ数	85 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体 種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
焼津ジュニア テニスクラブ	地域クラブ	ソフトテニス	月 4 回	毎週土曜日 8:30 ～11:30	1 年生 42 人 2 年生 23 人 3 年生 33 人	令和 5 年 度から	市内中 学校体 育館	6 人以上	6 人以上	3 か月 5,000 円	中体連： 部活動
焼津卓球ク ラブ	地域クラブ	卓球	月 2 回	土 or 日 主に午前中	1 年生 15 人 2 年生 36 人 3 年生 37 人	令和 5 年 度から	市内中 学校卓 球場	6 人以上	6 人以上	月 2,000 円	中体連： 部活動
焼津水夢ク ラブ	地域クラブ	水泳	週 3 回	18:30～ 20:30	1 年生 2 人 2 年生 6 人 3 年生 1 人	令和 5 年 度から	市営屋 内プー ル場	2 人	2 人	月 3,000 円	中体連： 地域クラブ活 動

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	9 校	実施した地域クラブ総数	14 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		8 クラブ（8 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		6 クラブ
全体の指導者数	85 人	全体の運営スタッフ数	85 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体 種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
焼津高校 Saltar	高校部活動	トランポリン	月 4 回	毎週水曜日 19:00 ～20:00	1 年生 7 人 2 年生 1 人 3 年生 5 人	令和 5 年 度から	市内高等学校 トランポリンアリーナ	2 人以上	2 人以上	月 3,500円 程度	不参加
静岡ジュニア レスリング	高等学校 部活動	レスリング	週 2 回	水 16:30～ 19:00 土 9:00～ 12:00	1 年生 4 人 2 年生 3 人 3 年生 2 人	令和 5 年 度から	市内高等学校 レスリング場	6 人	6 人	年 1,450円	各種大会： 地域クラブ活動
焼津よさこい 倶楽部	既存団体	ダンス	週 2 回	水 17:00～ 19:00 土 17:00～ 19:00	2 年生 1 人	令和 6 年 度から	市内中学校 体育館	2 人	3 人	月 3,000円	各種イベント： 地域クラブ活動

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	9 校	実施した地域クラブ総数	14 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		8 クラブ（8 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		6 クラブ
全体の指導者数	85 人	全体の運営スタッフ数	85 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体 種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
焼津フラダンスクラブ Maile	既存団体	フラダンス	不定期	毎週水曜日 17:00 ～19:00 土or日	0人	令和6年度から	市内中学校体育館	1人	1人	月 3,000円 程度	各種イベント ：既存団体
焼津バレーボールクラブ	地域クラブ	男子バレーボール	月4回	毎週土午前	1年生10人 2年生24人	令和6年 9月から	市内中学校体育館	3人	3人	年 2,000円 程度	中体連： 部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●各クラブ 3月末から4月頭にかけて体験会や保護者説明会を開催

●焼津バレーボールクラブ 7月下旬保護者説明会 9月7日活動開始

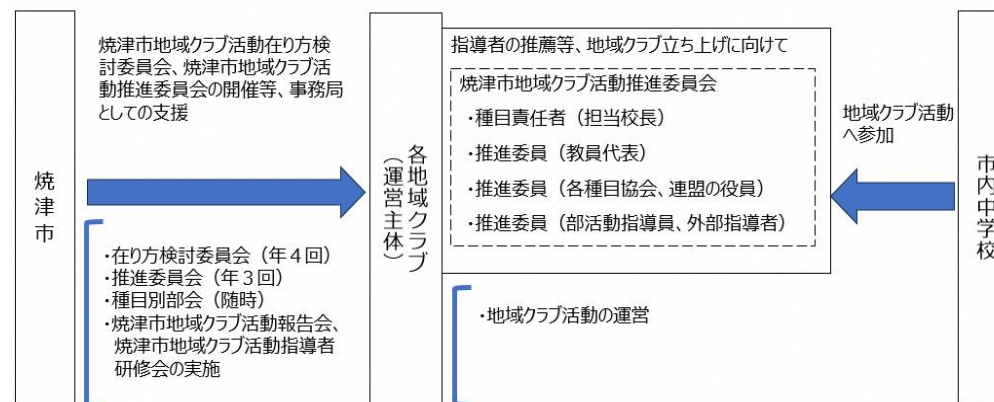
2.実証内容と成果

主な取組例

●焼津バレーボールクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バレーボール
運営団体名	地域クラブ
期間と日数	令和6年9月7日～
指導者の主な属性	教員、地域社会人
活動場所	市内中学校体育館
主な移動手段	自転車、送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	24,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年 ※市により負担

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●代表者

役割：地域クラブ活動指導、運営全般を行う

●指導者 2名

役割：技術的な指導をサポートする

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

地域スポーツクラブ活動を実施する上で生じる課題を把握し、適切に解決するため、学校と行政、地域指導者等の連絡調整を担うコーディネーター1人を配置する。コーディネーターは、各クラブ活動を月1回程度巡回し、活動状況の把握や運営や活動上の課題の整理を行う。また、学校施設利用について、学校・クラブと連絡を取り合い、日程を調整する。

取組の成果

学校施設利用に関し、コーディネーターによる、学校、クラブとの連絡調整により、各クラブが計画通りに学校施設を利用することができた。

また、新規開設クラブの学校施設利用についても、新規クラブの希望にできるだけそえるような形で施設を調整し、校長会等で周知をはかりながら進めることで、学校とクラブの連絡調整を行うことができた。

さらに、各クラブを巡回し、参加生徒の様子を見学したり、指導者の声を聞いたりしながら、今後の地域クラブ活動の運営に対する材料を収集することができた。

最後に、焼津市地域クラブ活動在り方検討委員会の拡大に向けて、庁内の他部局に対する地域クラブの趣旨説明等を行うことで、他部局との連携を進めることもできた。

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・各クラブの学校施設利用に関する連絡調整
- ・各クラブ巡回
- ・他部局への地域クラブ活動趣旨説明

今後の課題と対応方針

- ・今後の新規クラブ開設に向けて、学校施設以外の利用の検討
- ・平日の地域クラブ開設に向けた学校施設利用に関する取り組み
- ・他部局との事務局編成に向けた会議の設定

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

指導者の質の向上を図るため、地域クラブ指導者が集まり、救急救命士等に関する研修等を行う焼津市地域クラブ活動指導者研修会を年1回開催する。

指導者研修の内容

- ・あいさつ
- ・救命救急講習
- ・令和7年度焼津市地域クラブ活動（開設クラブ、補助金と保険、ガイドライン、募集案内等）
- ・連絡

受講者の声

- ・web119について、理解が深まった。
- ・地域クラブ活動の目的を広く周知して欲しい。
- ・指導者確保に向けて、次の世代に引き継いでいくことも大切。

指導者研修参加の実績

焼津市地域クラブ活動
17クラブから、計23名の出席があった。

取組の成果

- ・年1回、指導者研修会を実施し、23名の参加があった。
- ・今後のクラブ運営、補助金、広報等について情報共有、意見交換を行った。
- ・次年度募集案内についても、各クラブと丁寧に確認することに努めた。
- ・補助金や保険加入についても市の方針をもとにしながら説明した。
- ・本年度は、市防災課と連携して救命救急（web119）の通報方法について理解を深めることができた。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

【焼津市地域クラブ活動指導者研修会】

- ・対象：焼津市地域クラブ活動指導者
- ・目的：焼津市地域クラブ活動指導者としての、資質向上をはかる

工夫した点：市の防災課と連携し、救命救急講習（web119）の理解を深めることができた。また、次年度の地域クラブ活動における市の支援等がどのようになるのかを示し、共通理解をはかることができた。

指導者研修の参加実績

- ・開催日： 2月 12日
- ・開催回数： 1回
- ・参加人数： 23人
- ・内容： あいさつ 救命救急講習 令和7年度焼津市地域クラブ活動（開設クラブ、補助金と保険、ガイドライン、募集案内等） 連絡

受講者の声

- ・web119について、理解が深まった。
- ・地域クラブ活動の目的を広く周知してほしい。
- ・指導者確保に向けて、次の世代に引き継いでいくことも大切



今後の課題と対応方針

- ・今回は救命救急講習として、web119を行ったが、昨年度扱ったAED講習についても、来年度扱うなど、隔年で内容を変えていくことで周知をはかっていきたい。
- ・焼津市地域クラブ活動ガイドラインの制定により、活動の目的等の周知を指導者だけでなく、保護者や地域にも周知をはかっていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- ・毎月の焼津市校長会、校長会中学校部会、焼津市教頭会で地域クラブ活動移行の進捗状況について説明。
- ・焼津市生きがい交流部スポーツ課、文化振興課、スマイルライフ推進課との協力・連携に向けた協議の実施。

取組の成果

学校施設の利用や地域クラブ入部の流れなど、部活動の地域クラブ活動移行に向けて、学校と連携して進めていくために、毎月の焼津市校長会、校長会中学校部会に参加し、地域クラブ活動移行の進捗状況について説明した。また、焼津市生きがい交流部スポーツ課、文化振興課、スマイルライフ推進課との協力・連携により、幅広い分野から各種目の指導者確保に努めたり、新たな分野の地域クラブ開設に向けて協議した。関係の連盟・協会とも連携し、地域クラブ開設、活動の維持等についての協議を行うことができた。

焼津市校長会への出席

- ・回数 年間12回
- ・内容 地域クラブ活動の進捗状況説明や地域クラブ活動移行に関する各学校への依頼

焼津市校長会中学校部会への出席

- ・回数 年間12回
- ・内容 地域クラブ活動の進捗状況説明、地域クラブ活動移行に関する各校への依頼、施設利用に関する取り決め、地域クラブ活動に関係する学校部活に関する運営方針

今後の課題と対応方針

- ・平日の地域クラブ活動開催に向けて、学校利用以外の夜間利用、ナイター照明等における地域クラブ活動の在り方について検討
- ・多彩な地域クラブ活動開設に向けて、さらなる指導者や運営団体との連携強化

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

・種目ごと段階的に休日の部活動の地域移行を進めており、学校の枠にとらわれずに各クラブの募集を行う。
・本年度9月から、野球、サッカー、男女バスケット、女子バレーボールについて、合同部活動を開始した。

各自治体の役割

- ・合同部活動における施設利用の割り振り
- ・合同部活動における大会参加要項の確認
- ・長期休業中における合同部活動の扱い
- ・合同部活動の形（参加中学校、会場、ある程度の指導者）を維持したまま、地域クラブ活動へ移行

移動手段

- ・自転車
- ・保護者による送迎

取組の成果

令和7年度の地域クラブ活動開設に向けて、令和6年9月7日から、野球、サッカー、男女バスケットボール、女子バレーボールについて、地域クラブ移行後を想定した会場割り振りをし、市内一斉に合同部活動を開始した。参加生徒、教員、ともに会場への移動、他校生徒の練習、試合への出場など地域クラブ活動後のイメージを持つことができた。

今後の課題と対応方針

まず、保護者送迎の負担軽減。
次に、一部種目において、指導者が平日と休日でかわることから、指導者の指導内容の引継ぎ等が課題としてあげられる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

地域クラブ参加生徒及び保護者へ、地域クラブに関するアンケート調査を行い、その回答結果を、焼津市地域クラブ活動報告会で示し、今後の地域クラブの運営について意見交換を行う。

活動の詳細

参加人数	21 人	指導者数	20 人
属性	焼津市地域クラブ活動報告会		
具体的な内容	・あいさつ ・令和6年度アンケート結果報告 ・けがの報告の申請 ・保護者等への緊急連絡先の確認 ・学校施設の鍵の保管報告 ・補助金の申請 ・平日の地域クラブ活動開設に向けて		
子供の声	・楽しい、やりがいがあるから ・他校の生徒とも一緒に楽しく活動できた ・丁寧に教えてくれるから ・先輩たちに教えてもらったりして他学年と交流できた - また、別の学校の人とも交流できたから		
関係者の声	● 熱中症等の対応を考えていきたい ● 欠席の生徒の月謝に対する配慮を考えたい ● 参加生徒を増やすための広報を事務局にも行ってもらいたい		
運営経費	市教育委員会主催のため、大きな経費はかからない。資料印刷製本台等のみ。	令和6年度実施アンケート ＜満足している＞ 99.3%（生徒） 令和5年度実施アンケート ＜満足している＞ 94%（生徒）	

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

令和6年焼津市地域クラブ活動アンケート結果から、活動に肯定的な回答を示した割合は、99.3%であった。主な理由としては、

- ・楽しい、やりがいがある・他校の生徒とも一緒に楽しく活動できた。
 - ・丁寧に教えてくれるから・先輩たちに教えてもらったりして他学年と交流できた。また、別の学校の人も交流できたから。
 - ・学校の部活が少なくて練習できないときに練習させてもらえたから。
- 等であった。

保護者満足度についても、肯定的な回答を示した割合は、95.4%と昨年度よりも6ポイント数値が高まった。主な理由としては、

- ・外部の練習で子供達にとっては、いい刺激になって、もっと上手になりたいとやる気が出たから良かったと思います。そして人数が多いからと午前の部、午後の部と分けたのが良かったです。
- ・初心者でしたが、純粋に卓球への意欲が高まりました。自転車で学区外の体育館へ行くことで、体力や行動力がついたことはもちろん、交通ルールや時間を守る、忘れ物をしないなど中学生として自立する良い機会になったと思っています。他校の生徒とも卓球を通じて仲良くなり、毎回楽しく参加できたことは貴重な経験になりました。等であった。

これらのことから、指導者の活動の仕方の工夫や、生徒の居場所づくりとなるような運営体制など、地域クラブ活動の充実に向けた取り組みが進んできている。

令和6年度実施アンケート

＜満足している＞ 99.3%（生徒）

＜満足している＞ 95.4%（保護者）

令和5年度実施アンケート

＜満足している＞ 94%（生徒）

＜満足している＞ 89%（保護者）

今後の課題と対応方針

保護者アンケートから、熱中症対策を懸念する声や、送迎の負担に対する意見が寄せられていたため、今後の活動においても、焼津

市熱中症対策ガイドラインの周知徹底をはかることや、送迎負担の緩和策の検討も行っていくたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

持続可能な活動を目指し、受益者負担を基本とする。ただし、移行期については、市から各クラブへの支援を行うことにより受益者負担を低廉に抑え、生活困窮家庭の生徒も含め、市内中学生が地域クラブに参加しやすいような体制づくりに努める。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

・既存団体による地域クラブ活動受け入れのため、イニシャルコストは、受け入れ団体による

■ランニングコストの分析

・会場使用料 ・消耗品費 ・謝礼等は、受け入れ団体の意向による

・焼津市では、参加したい生徒なら誰もが参加できるように、できるだけ低廉な活動費になるように依頼している。
・市としては、補助金の交付、指導者生徒の保険料と一括申請、公共施設の施設使用料、市のHP更新や募集案内の作成、配布、リーフレットの作成配布といった広報活動、指導者研修会や活動報告会の主催等を市の支援として行ってきた。

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

各クラブの活動費（一部）

- ・焼津剣道館
年額6,000円
- ・焼津卓球クラブ
毎月2,000円程度
- ・焼津バレーボールクラブ
毎月2,000円

持続可能な受益者負担額としては、施設使用料、謝礼金等がクラブによって違うため、クラブ毎に決定している。

令和6年度は、施設使用料や受益者負担額も含めて、1人1か月、250円（年額3,000円）から3,500円の活動費を徴収することにより活動を行うことができた。

収支バランス

市の支援

- ・指導者生徒の保険料及び一括申請
- ・補助金10万円の交付
- ・公共施設の施設使用料
- ・研修会、報告会の主催
- ・広報活動

・市の支援として、指導者と生徒の保険料、保険申請を市で一括して行った。また、各クラブに消耗品備品等のクラブ立ち上げに係る費用として、補助金10万円を交付した。さらに、焼津市営の施設使用料については、市の負担とした。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

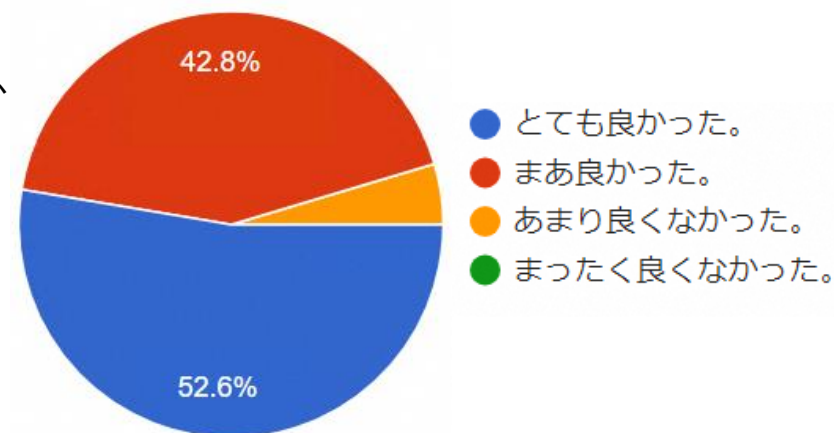
●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

令和6年焼津市地域クラブ活動アンケート結果からは、保護者の方からこのような回答を得た。

- ・子供がやってみたい競技だったので。楽しそうです。部活動も19時からで、送迎できる時間帯なので助かっています。
- ・試合を見に行くとても上達しているのがわかり、他校の生徒との交流を持つことができ友人が増えた。練習部費も良心的な金額でありがたかった。
- ・保護者見学会も開いていただき、先生方がとても丁寧に準備から開催、運営維持までしていただいていることができ、安心しました。
- ・送り迎えもなく、金銭面でも、ほぼ出費もなく先生達の熱いご指導を受けられたので。
- ・無理なく通える 保護者の負担が少ない。
- ・初心者でしたが、純粋に卓球への意欲が高まりました。自転車で学区外の体育館へ行くことで、体力や行動力がついたことはもちろん、交通ルールや時間を守る、忘れ物をしないなど中学生として自立する良い機会になったと思っています。他校の生徒とも卓球を通じて仲良くなり、毎回楽しく参加できたことは貴重な経験になりました。

お子様の参加する地域クラブ活動について、全体的にどの程度満足していますか。



今後の課題と対応方針

今後は、補助金や市による指導者生徒の保険一斉加入がいつまで継続できるのか、打ち切りになった場合に受益者負担金（保護者負担）が多くならないような対応を考えていく必要がある。

例えば、就学支援のような制度を地域クラブ活動にも導入することが考えられる。その他にも、どのような方法が考えられるのか、検討を続けていく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等③

資料

第4 補助対象経費及び補助額

(1) 補助対象経費

地域クラブ活動推進事業に要する経費のうち、消耗品費、備品費、修繕費、印刷製本費、指導者が中体連等の大会に引率するために必要となる指導者資格等の取得に要する費用（受講料、テキスト代、登録料、手数料等）、競技者登録料、大会参加料及び施設使用料（焼津市部活動ガイドラインに定める活動日及び活動時間を遵守した活動において使用した焼津市の公の施設又は教育委員会が認めた公の施設の使用料に限る。）。ただし、クレジットカード決済、スマートフォンアプリ等を利用した決済その他特典が付与される決済手段により支払われるものを除く。

(2) 補助額

ア 補助額

補助金の額は、補助対象経費の額とする。

イ 施設使用料を除く補助対象経費の上限額

(イ) 活動場所が1か所の団体

100,000円を上限とする。

(ロ) 活動場所が2か所以上の団体

1か所当たり100,000円を上限とする。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

○低廉な活動費を目指し、学校施設の活用について校長会及び教頭会と連携し、体制を整備する。学校施設の利用については、できる限り学校職員の負担を減らすため、市事務局内で利用日の調整等を行った。

○校舎内については、セキュリティ面や管理面から利用が難しい現状にある。学校外の公共施設利用についても検討した。

取組の成果

できるだけ低廉な活動費を目指し、学校施設の割り振りと連絡調整を事務局で行った。このことから、学校施設の利用を最大限に活用することで、施設利用料の負担を無くすことができた。また、学校施設の優先度について、校長会中学校部会で検討し、地域クラブの優先利用について、共通理解をはかることができた。

施設使用の優先順位 (学校 19時まで)

- ①学校
- ②PTA・地域行事
- ③大会会場
- ④地域クラブ
- ⑤一般のクラブ 等

今後の課題と対応方針

学校施設の利用については、校長会及び教頭会と連携し、事務局によって調整を行うことで、学校施設の利用を最大限に活用できている。

今後は、地域交流センターの活用や高等学校とのさらなる連携を通して会場使用料がかからずに活動できる地域クラブの運営体制を確保していけるように検討していく必要がある。

2.実証内容と成果①

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

焼津市地域クラブ活動は、令和4年度に5種目の立ち上げからスタートし、令和5年度は12種目、本年度は17種目での活動となり、段階的に部活動の地域移行を進めている。

本年度は、17クラブに405名が参加し、活動を行うことができた。

本年度実施したアンケートからは、参加生徒の満足度が99.3%、保護者満足度は、95.4%であった。

本年度合同図活動を開始した、野球、サッカー、男女バスケットボール、女子バレーボールについては、令和7年度夏季中体連大会以降に地域クラブ活動移行の目途がたち、令和7年3月より募集を開始する予定である。今後も、生徒のやってみたいという思いに応えられるような環境整備を進めていきたい。

●成果の評価

本年度活動を開始した焼津バレーボールクラブは、市内中学校バレーボール部員を中心に、市内中学生34名が参加して活動している。

指導者についても、2名でのスタートであったが、現在は1名増えて3名での指導体制となっている。

また、部活動顧問が移行開始時期において協力をしてくださり、各校部活動顧問が1人ずつローテーションで週末の地域クラブ活動の指導に参加してくださっている。

保護者会においても、代表者や会計等組織され、活動が軌道にのっている。

●今後に向けて

来年度は、野球3チーム、サッカー3チーム、男子バスケットボール3チーム、女子バスケットボール3チーム、女子バレーボール1チーム（合同部活動の3会場で練習）、ボーイスカウトクラブ、カンフークラブ、総合型スポーツクラブが立ち上がる予定である。

ボーイスカウトクラブ、カンフークラブ、総合型スポーツクラブは既存団体であるのに対し、野球、サッカー、バスケット、女子バレーについては、推進員会より立ち上げたクラブであることから、運営面について、活動が軌道にのるまで事務局としてサポートをしていく必要がある。

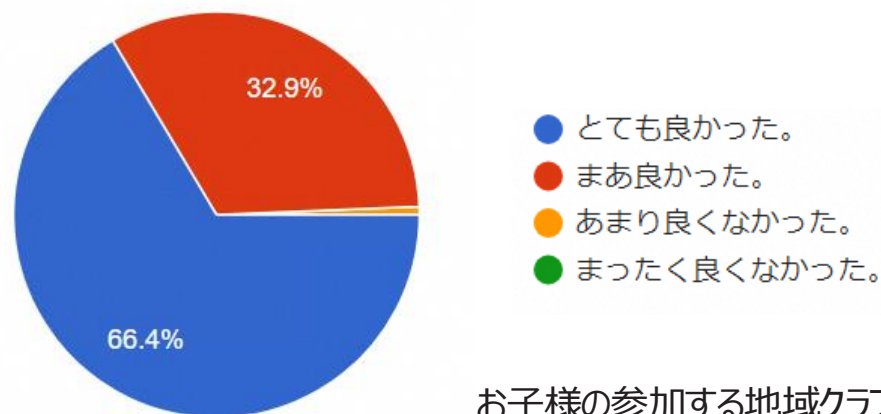
また、保護者アンケート結果から、送迎の大変さや熱中症対策について懸念される声がきかれたため、保護者送迎の負担軽減策を検討するとともに、熱中症対策や地域クラブ活動における指導の在り方等について、来年度の地域クラブ活動報告会や指導者研修会を生かして、焼津市地域クラブ活動ガイドライン等を示しながら、周知徹底をはかっていきたい。

2.実証内容と成果②

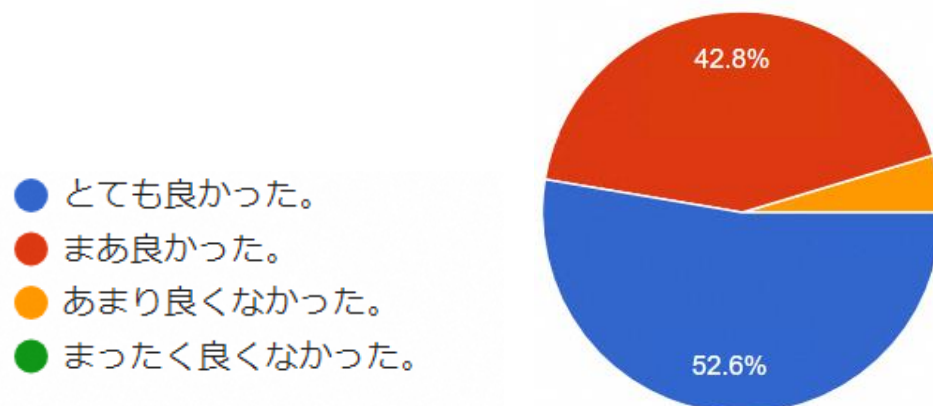
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

Q.地域クラブ活動に参加して、全体的にどの程度満足していますか？（生徒）



お子様の参加する地域クラブ活動について、全体的にどの程度満足していますか？保護者



●参加者の声

参加中学1年生

初心者にもわかりやすく教えてもらってアドバイスももらえるから。また、友達と楽しくやれているから。

参加中学2年生

学校の部活が少なくて練習できないときに練習させてもらったから。
強い人と練習したり、コーチにも恵まれて、ありがとうございます。

参加中学3年生

他校の生徒さんと共に稽古し、同じチームとして戦って絆が出来た。とても楽しかったです

参加中学生の保護者

みんなが目標に向かって取り組んでいる姿があって、良い環境でやっていると思う。他の中学の生徒にも刺激をうけている様子。
本人が満足していて、こちらに参加してよかったと言っていること。
平日の部活は学校行事などで練習が思ってたより休みが多かった。
もっと練習をしたいと言っていたので、こういう形で地域クラブをやっていただけでよかった。
トラックで練習できるのも、こういう活動に参加してこそなので、よかった。

2.実証内容と成果③

令和6年度焼津市地域クラブ活動リーフレット



アンケート結果・広報資料

焼津市地域クラブ活動リーフレットを作成し、市内小学校4年生から中学校3年生、市内教職員にも配布した。また、焼津市ホームページにも掲載し、焼津市地域クラブ活動の広報を進めた。

焼津市 地域クラブ活動

文部科学省（スポーツ庁、文化庁）の方針のもと、日本全国において、中学校の部活動が地域クラブ活動へ段階的に移行しています。

地域クラブとは、これまで中学校で行われてきた学校部活動とは違い、地域の方が中心となって行う新しい形のクラブです。焼津市の地域クラブ活動は、現在は、主に休日（土・日・祝）の活動ですが、既に、平日の活動を行っているクラブもあり、今後順次、平日の学校部活動も地域クラブ活動に移行していく予定です。

焼津市は、生徒のやってみようという思いに応えられるように、多くの種目の地域クラブ開設と体制整備に向けて「焼津市地域クラブ活動在り方検討委員会」と「焼津市地域クラブ活動推進委員会」を開催し、取組を進めています。

学校部活動から新しい地域クラブ活動へ

市民の生きがい
抱夢者、運営者としての喜び

やってみようという思い
生徒の思いの実現

焼津市地域クラブ活動のねらい

中学生のニーズ
多種多様な活動
専門的な指導

焼津らしさ
創造的、発展的な活動

子供にとっても焼津育民にとっても魅力的な活動

令和7年度に休日の地域クラブ開設を予定している種目等

- 野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール(女子)、軟式野球、水泳、卓球、ボウリング、総合型スポーツクラブ等を開設予定です。
- 令和6年度は野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール(女子)で、地域移行に向けた3校ごとの合同部活動を実施しています。
- 令和7年度秋には、休日の部活動は全て終了し、地域クラブ活動となることを目指しています。
- 準備が整った種目から平日の地域クラブ活動も開設していきます。

焼津市地域クラブ推進・運営クラブ活動代表者の募集

得意な分野で中学生を指導してみたい方、地域クラブ活動を運営してみたい方は、ぜひご連絡ください。また、各クラブでは、活動に応援していただけるスポンサーを募集しています。

問い合わせ先 焼津市教育委員会学校教育課 担当：多田・森 TEL 625-8160

令和4年度より焼津市地域クラブ活動を段階的に開始しています

- 市内中学生を対象とした活動です。
- 地域の方が運営代表者や指導者をしています。
(運営主体は各クラブです)
- どのクラブも、土・日・祝日の活動が中心です。
- 活動費(指導者謝礼等)は、保護者負担です。
(それぞれのクラブで金額や徴収方法が異なります。)
- 地域クラブとしての大会参加を進めています。主観団体の参加環境によっては、学校部活動として先生方に引継ぎいただいています。

令和6年度に募集している「焼津市地域クラブ活動」

地域クラブ加入の方法

中学校または地域クラブに申し出てください。
※各クラブの活動については、市のHPもしくは、令和6年度募集案内をご覧ください。

令和6年度 7月～8月実施 満足度アンケート

生徒
満足度 94.3%
0.7% (とてもよかった)
93.6% (まあよかった)
60.4% (あまりよくなかった)
0.7% (まったくよくなかった)

保護者
満足度 95.4%
4.6% (とてもよかった)
90.8% (まあよかった)
62.6% (あまりよくなかった)
4.6% (まったくよくなかった)

国のガイドラインに沿って進めています

- 少子化が進む中でも、中学生が将来にわたり様々なスポーツや文化活動に親しめるように、焼津市の教育大綱に「楽しい」「楽しい」「楽しい」の育成を目指します。
- 中学生の心身の健康を考慮し、原則として、土日のどちらかは休養日としています。

【令和6年度焼津市地域クラブ活動リーフレット】

2.実証内容と成果③

令和7年度焼津市地域クラブ活動募集案内



アンケート結果・広報資料

令和7年度焼津市地域クラブ活動募集案内を作成した。印刷が完了したら、市内小学校6年生、中学校1, 2年生、市内教職員に配付予定。

令和7年度 焼津市地域クラブ活動

焼津市では、令和7年度に次の34種類の地域クラブ活動を行います。対象は、市内在住の中学生です。みなさんの参加をお待ちしています。お気軽にお問い合わせください。

地域クラブとは、これまで中学校で行われてきた学校部活動とは違い、地域の方が中心となって行う新しい形のクラブ活動です。焼津市の地域クラブ活動は、主に休日（土・日・祝）の活動ですが、既に平日の活動を行っているクラブもあり、今後増減。平日の学校部活動も地域クラブ活動に移行していく予定です。

- ①代表者・指導者 ②活動日 ③活動場所
- ④活動内容 ⑤活動費等 ⑥その他



やいづ柔道倶楽部 (種目: 柔道)

■大井川道場
指導者: 青島真人 阿部敬明 猪俣生男 吉田悦秋
①毎月土曜日 9:00 ~ 12:00
②平日 (水・木・金曜日)
※平日は、大井川中の部活動時間に
合わせて活動します。
③大井川中平成部 (武蔵道)
※平日は、大井川中平成部 (武蔵道)
※平日は、大井川中平成部 (武蔵道)
※平日は、大井川中平成部 (武蔵道)

■焼津道場
指導者: 豊島悠之 仁藤雅也
①毎月土曜日 9:00 ~ 12:00
②平日 (水・木・金曜日)
③火曜・金曜 (19:30 ~ 21:00)
④株式会社 Tec 柔道場 (三和 1346)
連絡先: Tec 柔道場 054-624-0955 (平日 9:00 ~ 17:00)
Eメール: info@tec1965.jp

剣道 焼津館 (種目: 剣道)

①道場正行
指導者: 上田貴久 鈴木邦平 長谷川直樹
②毎月土曜日 9:00 ~ 12:00
③剣道部活動道場 (田代 2011-1)
④剣道の基本から技術指導、礼法指導を行います。
多くの生徒が習得し、初心者も経験者とともに
高め合えるような稽古を目指します。
⑤月1,000円 (剣道着購入などについては相談
にまかします)
⑥修練会 (中学の先輩と剣道を体験しよう)
場所: 知見前部活動道場
日時: 3/23と4/20の9:00 ~ 11:00
4月は毎週土曜日に活動しています。
月1,000円 (剣道着購入などについては相談
にまかします)
連絡先: 090-1567-0935 (長谷川)

やいづ相撲クラブ (種目: 相撲)

①松浦みな美
指導者: 松野圭介 成川輝 原田明
②毎月土曜日 18:00 ~
③焼津市空相撲場 (夏季)
静岡県立焼津 (冬季)
④基礎練習、実技練習
体力づくりのための入部、大会参加を目指す
ための入部、どちらも可能です。
やいづ相撲クラブと一緒に活動します。
⑤男子も女子も各稽古で活躍して
います。お気軽にご参加ください。
見学会: 4/19 (土)、4/26 (土)
18:00 ~ 市営相撲場にて
⑥会費は別途お申し込みください。
連絡先: sumou_yaizu@yahoo.co.jp

レスポ焼津 (種目: ニュースポーツ、レクリエーションスポーツ)

①鈴木宏尚
指導者: 大石立美 池田代 土屋礼子他
②月2回 土曜日 9:00 ~ 11:00
③池田代体育館
④様々なレクリエーションスポーツを体験し、
みんなで楽しく活動しましょう。
ルールはどれも簡単です！
＜令和7年度予定＞
ラダーグッター、ベタコン、ボッチャ
ターゲットバードゴルフ、モルック、スボレック等
⑤毎月1,500円 (保険・用具費・指導料等)
⑥毎月1,500円 (保険・用具費・指導料等)
⑦体験会を開催しています。
お気軽にどうぞ。
連絡先: 090-4408-9906 鈴木
平日 17時 ~ 20時
土日 13時 ~ 17時

やいづ海洋クラブ (種目: 海洋体験)

①加藤 誠
指導者: 焼津市中学校教員・
焼津水産高校教員等
②月2回 土曜日 9:00 ~ 11:00
③小川港、焼津水産高校 等
④ボート運搬、生き物教室、
シュノーケリング、釣り教室、その他
※屋外の活動は夏が中心になります。
⑤定員20名 (R6からの継続参加あり)
焼津市HPで募集します。
3月20日(水)9:00 ~ 3月26日(水)17:00
※参加費は1年生4,800円、2年生4,800円。
毎月1,500円程度 (前年、後年の2期で集金)
(保険・燃料費・指導料等)
⑥初心者大歓迎！
海に興味がある人、集まれ！

焼津アスレチッククラブ (焼津AC) (種目: 陸上競技)

①佐々木敦
指導者: 船山誠 鈴木豊 佐々木敦 杉山浩樹 他
②休日はどちらか、祝日は不定期 時間は午前または午後
平日は火・木・土曜 (部活動が減少する2学期から) や長期
休業中 (夏季は夕方、冬季、春季は午前または午後)
③運動会・大会
市公民館 (焼津市、大井川上陸競技場)
市公民館 (焼津市、大井川上陸競技場)
陸上競技の練習、陸上競技大会への出場
東海地区より上陸競技の練習
④令和6年度は3月18日午後5:00円を集金
令和7年度は一部改訂予定
(各都道府県に所属する上陸競技の選手)
⑤陸上競技をやりたい人が練習に打ち込みます。
今年度より6名の選手・体験会を交付中
保護者説明会 3/19 (水) 19:00 ~
シガタドーム会議室 連絡先: yaizuac@gmail.com
クラブメール: R6焼津 AC (クラブコード: pmuubw2)
小学校6年生で見学、体験希望の方は活動予定を
掲載しますのでお申し込みください。

焼津ジュニアテニスクラブ (種目: テニス)

①本橋雅弘
指導者: 本橋雅弘 山田智恵 青野千恵子
木本哲 松本 浩 山本一樹 他
②毎週土曜 8:30 ~ 11:30
土曜が雨の場合は日曜に行います
③焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
④焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
⑤焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
⑥焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
⑦焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
⑧焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
⑨焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
⑩焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
⑪焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
⑫焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
⑬焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
⑭焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
⑮焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
⑯焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
⑰焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
⑱焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
⑲焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
⑳焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㉑焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㉒焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㉓焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㉔焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㉕焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㉖焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㉗焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㉘焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㉙焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㉚焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㉛焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㉜焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㉝焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㉞焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㉟焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㊱焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㊲焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㊳焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㊴焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㊵焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㊶焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㊷焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㊸焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㊹焼津市テニスコート 大井川中テニスコート
㊺焼津市テニスコート 大井川中テニスコート

やいづ卓球クラブ (種目: 卓球)

①鈴木智恵
指導者: 杉本雅彦 武蔵野 小長谷弘二
増田拓哉 川出 花村典典 他
②毎週土曜 8:30 ~ 11:30
③焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
④焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
⑤焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
⑥焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
⑦焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
⑧焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
⑨焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
⑩焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
⑪焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
⑫焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
⑬焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
⑭焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
⑮焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
⑯焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
⑰焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
⑱焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
⑲焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
⑳焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㉑焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㉒焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㉓焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㉔焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㉕焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㉖焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㉗焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㉘焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㉙焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㉚焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㉛焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㉜焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㉝焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㉞焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㉟焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㊱焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㊲焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㊳焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㊴焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㊵焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㊶焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㊷焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㊸焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㊹焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)
㊺焼津市卓球会 (焼津市、大井川中)

焼津水泳クラブ (種目: 水泳)

①長瀬伸秀
指導者: 長瀬伸秀 望月 堀田正正
②毎週 火・木・土曜 18:30 ~ 20:30
③デスカバ(夏)水泳水泳
大井川 (夏季) 等
④焼津市水泳会 (焼津市、大井川中)
大会に出場し練習を行います。
本人の上達に合わせて中級コースまで
(大会に出場する人はこのクラブを勧めます)
⑤毎月3,000円 (大会参加料・指導料等)
⑥水泳を泳ぎたい人、泳力や記録の向上を
目指していきましょう。
体験会 3/18, 20, 22, 25, 27, 29 水泳館にて
保護者説明会 3/18 11:30 水泳館会議室
※4月以降は20日の日曜に体験会
連絡先: 054-627-4415 (望月) 10:00 ~ 17:00

焼津高校 Saltar (種目: トランポリン)

①橋本健史
指導者: 橋本健史 塚本月
②毎月土曜 19:00 ~ 20:00
③焼津高校トランポリン部
④トランポリンの練習・大会
⑤毎月3,500円 (大会参加料・指導料等)
⑥レクリエーションコースの他に、
専門的な「競技コース」もあり。
(競技コース: 平日夜間18時以降)
連絡先
054-628-7235
(焼津高校) 本橋
yaizutrampo@gmail.com

静岡ジュニアレスリングクラブ (種目: レスリング)

①長野廣之
指導者: 長野廣之 長谷川拓也 西上伸伸
西島 芳樹 寺尾 隆
②毎週 土曜 16:30 ~ 19:00
③焼津中央高校校舎
④レスリング技術の指導
基礎体力作り
精神面の強化
⑤試合形式、協会登録費、
大会参加料は各自
⑥男女ともに初心者大歓迎！！
ぜひ一度見学に来て下さい。
連絡先
054-628-6000 (焼津中央高校: 長谷川)

焼津eスポーツクラブ (種目: eスポーツ)

①富田康広
指導者: 富田康広 富田康広 他
②毎月土曜 10:00 ~ 21:00 2クラス 2時間
③焼津市eスポーツクラブ
(焼津市公民館1-15 2F 15号室)
④パソコンのeスポーツ (MOBA) の練習
コンテントのeスポーツ (MOBA) の練習
インターネットのeスポーツの指導
⑤毎月3,000円 (大会参加料、指導料等)
⑥活動内容の指導 (オンラインゲーム)
を指導しています。ご参加の土曜日の方
とご一緒に活動してください。詳細は以下のホーム
ページをご覧ください。
https://sports-club.jp/ica/
054-397-1049 まで
ホームページの二次元コード

焼津クラシックバレエ (種目: クラシックバレエ)

①野尻寿子
指導者: 水崎り
②月2回 土曜 9:00 ~ 11:00
③スタジオ・バレエ
④クラシックバレエにおける基礎練習と
技術の指導
⑤毎月3,000円 (大会参加料、指導料等)
⑥クラシックバレエの指導
⑦クラシックバレエの指導
⑧クラシックバレエの指導
⑨クラシックバレエの指導
⑩クラシックバレエの指導
⑪クラシックバレエの指導
⑫クラシックバレエの指導
⑬クラシックバレエの指導
⑭クラシックバレエの指導
⑮クラシックバレエの指導
⑯クラシックバレエの指導
⑰クラシックバレエの指導
⑱クラシックバレエの指導
⑲クラシックバレエの指導
⑳クラシックバレエの指導
㉑クラシックバレエの指導
㉒クラシックバレエの指導
㉓クラシックバレエの指導
㉔クラシックバレエの指導
㉕クラシックバレエの指導
㉖クラシックバレエの指導
㉗クラシックバレエの指導
㉘クラシックバレエの指導
㉙クラシックバレエの指導
㉚クラシックバレエの指導
㉛クラシックバレエの指導
㉜クラシックバレエの指導
㉝クラシックバレエの指導
㉞クラシックバレエの指導
㉟クラシックバレエの指導
㊱クラシックバレエの指導
㊲クラシックバレエの指導
㊳クラシックバレエの指導
㊴クラシックバレエの指導
㊵クラシックバレエの指導
㊶クラシックバレエの指導
㊷クラシックバレエの指導
㊸クラシックバレエの指導
㊹クラシックバレエの指導
㊺クラシックバレエの指導

やいづよこい倶楽部 (種目: よこいダンス)

①長瀬雅貴
指導者: 長瀬雅貴
②毎月土曜 17:00 ~ 19:00
③焼津市よこい倶楽部
④焼津市よこい倶楽部
⑤焼津市よこい倶楽部
⑥焼津市よこい倶楽部
⑦焼津市よこい倶楽部
⑧焼津市よこい倶楽部
⑨焼津市よこい倶楽部
⑩焼津市よこい倶楽部
⑪焼津市よこい倶楽部
⑫焼津市よこい倶楽部
⑬焼津市よこい倶楽部
⑭焼津市よこい倶楽部
⑮焼津市よこい倶楽部
⑯焼津市よこい倶楽部
⑰焼津市よこい倶楽部
⑱焼津市よこい倶楽部
⑲焼津市よこい倶楽部
⑳焼津市よこい倶楽部
㉑焼津市よこい倶楽部
㉒焼津市よこい倶楽部
㉓焼津市よこい倶楽部
㉔焼津市よこい倶楽部
㉕焼津市よこい倶楽部
㉖焼津市よこい倶楽部
㉗焼津市よこい倶楽部
㉘焼津市よこい倶楽部
㉙焼津市よこい倶楽部
㉚焼津市よこい倶楽部
㉛焼津市よこい倶楽部
㉜焼津市よこい倶楽部
㉝焼津市よこい倶楽部
㉞焼津市よこい倶楽部
㉟焼津市よこい倶楽部
㊱焼津市よこい倶楽部
㊲焼津市よこい倶楽部
㊳焼津市よこい倶楽部
㊴焼津市よこい倶楽部
㊵焼津市よこい倶楽部
㊶焼津市よこい倶楽部
㊷焼津市よこい倶楽部
㊸焼津市よこい倶楽部
㊹焼津市よこい倶楽部
㊺焼津市よこい倶楽部

焼津フラダンスクラブ Maile (種目: フラダンス、ハワイアンダンス)

①佐藤たかこ (フレイリアフラダンス)
②毎月土曜 17:00 ~ 19:00
③焼津市フラダンスクラブ
④焼津市フラダンスクラブ
⑤焼津市フラダンスクラブ
⑥焼津市フラダンスクラブ
⑦焼津市フラダンスクラブ
⑧焼津市フラダンスクラブ
⑨焼津市フラダンスクラブ
⑩焼津市フラダンスクラブ
⑪焼津市フラダンスクラブ
⑫焼津市フラダンスクラブ
⑬焼津市フラダンスクラブ
⑭焼津市フラダンスクラブ
⑮焼津市フラダンスクラブ
⑯焼津市フラダンスクラブ
⑰焼津市フラダンスクラブ
⑱焼津市フラダンスクラブ
⑲焼津市フラダンスクラブ
⑳焼津市フラダンスクラブ
㉑焼津市フラダンスクラブ
㉒焼津市フラダンスクラブ
㉓焼津市フラダンスクラブ
㉔焼津市フラダンスクラブ
㉕焼津市フラダンスクラブ
㉖焼津市フラダンスクラブ
㉗焼津市フラダンスクラブ
㉘焼津市フラダンスクラブ
㉙焼津市フラダンスクラブ
㉚焼津市フラダンスクラブ
㉛焼津市フラダンスクラブ
㉜焼津市フラダンスクラブ
㉝焼津市フラダンスクラブ
㉞焼津市フラダンスクラブ
㉟焼津市フラダンスクラブ
㊱焼津市フラダンスクラブ
㊲焼津市フラダンスクラブ
㊳焼津市フラダンスクラブ
㊴焼津市フラダンスクラブ
㊵焼津市フラダンスクラブ
㊶焼津市フラダンスクラブ
㊷焼津市フラダンスクラブ
㊸焼津市フラダンスクラブ
㊹焼津市フラダンスクラブ
㊺焼津市フラダンスクラブ

書学クラブ (種目: 書写・書道)

①森崎天香
指導者: 森崎天香 近藤幹月 田中清
田中清 萩原 敬
②大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
③大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
④大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
⑤大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
⑥大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
⑦大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
⑧大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
⑨大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
⑩大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
⑪大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
⑫大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
⑬大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
⑭大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
⑮大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
⑯大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
⑰大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
⑱大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
⑲大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
⑳大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㉑大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㉒大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㉓大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㉔大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㉕大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㉖大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㉗大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㉘大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㉙大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㉚大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㉛大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㉜大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㉝大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㉞大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㉟大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㊱大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㊲大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㊳大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㊴大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㊵大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㊶大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㊷大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㊸大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㊹大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30
㊺大村公民会クラブ 2月2日 10:00 ~ 11:30

焼津バレーボールクラブ (種目: バレーボール)

①小池直樹
指導者: 小池直樹 高田勝彦 永代 拓
②毎月土曜 8:00 ~ 12:00
③焼津市バレーボールクラブ
④焼津市バレーボールクラブ
⑤焼津市バレーボールクラブ
⑥焼津市バレーボールクラブ
⑦焼津市バレーボールクラブ
⑧焼津市バレーボールクラブ
⑨焼津市バレーボールクラブ
⑩焼津市バレーボールクラブ
⑪焼津市バレーボールクラブ
⑫焼津市バレーボールクラブ
⑬焼津市バレーボールクラブ
⑭焼津市バレーボールクラブ
⑮焼津市バレーボールクラブ
⑯焼津市バレーボールクラブ
⑰焼津市バレーボールクラブ
⑱焼津市バレーボールクラブ
⑲焼津市バレーボールクラブ
⑳焼津市バレーボールクラブ
㉑焼津市バレーボールクラブ
㉒焼津市バレーボールクラブ
㉓焼津市バレーボールクラブ
㉔焼津市バレーボールクラブ
㉕焼津市バレーボールクラブ
㉖焼津市バレーボールクラブ
㉗焼津市バレーボールクラブ
㉘焼津市バレーボールクラブ
㉙焼津市バレーボールクラブ
㉚焼津市バレーボールクラブ
㉛焼津市バレーボールクラブ
㉜焼津市バレーボールクラブ
㉝焼津市バレーボールクラブ
㉞焼津市バレーボールクラブ
㉟焼津市バレーボールクラブ
㊱焼津市バレーボールクラブ
㊲焼津市バレーボールクラブ
㊳焼津市バレーボールクラブ
㊴焼津市バレーボールクラブ
㊵焼津市バレーボールクラブ
㊶焼津市バレーボールクラブ
㊷焼津市バレーボールクラブ
㊸焼津市バレーボールクラブ
㊹焼津市バレーボールクラブ
㊺焼津市バレーボールクラブ

■お問い合わせ先
焼津市教育委員会教育課 (担当: 多田 森) 電話: 054-625-8160
※焼津市ホームページ「地域クラブ活動」
https://www.city.yaizu.lg.jp/child-edu/education/school/gakushu-seikatsu/chiki-club.html

申し込みについて
※参加するには、地域クラブの「入部費」が必要です。用紙は、各クラブ、
市内小学校 (市HPにも) にあります。
※令和7年度新たに地域クラブに参加を希望する場合は、4月以降、地域クラブの入部費を学校へ提出してください。
※令和7年度新たに地域クラブに参加を希望する場合は、4月以降、地域クラブの入部費を学校へ提出してください。
※令和7年度新たに地域クラブに参加を希望する場合は、4月以降、地域クラブの入部費を学校へ提出してください。

※野球、サッカー、バスケボール、女子バレーボールは、夏季中体大会終了後、各団体の地域クラブで準備
ができ次第開設します。地域クラブ活動を開始した団体は、8月の学校部活動は終了となります。この場合でも、
地域クラブ入部費は、4月から提出することができます。
※令和7年度、11月の開設を予定しています。9月以降、入部費が未定です。その場合、地域クラブの入部費
を学校へ提出してください。ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。

【令和7年度焼津市地域クラブ活動募集案内】表面

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【焼津柔道クラブ】



【剣道焼津館】



【焼津相撲クラブ】



【レクスポ焼津】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【焼津海洋クラブ】



【焼津アスレチッククラブ】



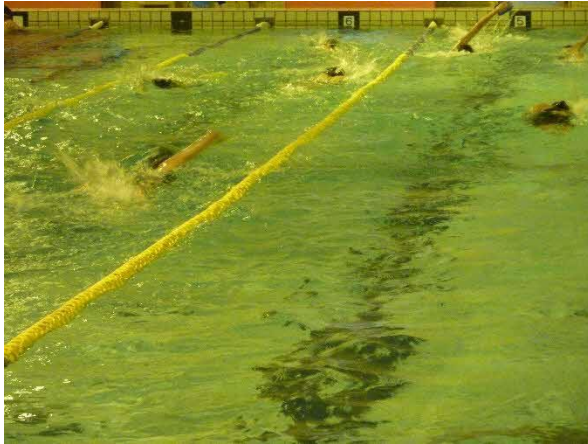
【焼津ジュニアテニスクラブ】



【焼津卓球クラブ】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【焼津水夢クラブ】



【焼津高校Saltar】



【静岡ジュニアレスリングクラブ】



【やいづよさこい倶楽部】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【焼津フラダンスクラブMaile】



【焼津バレーボールクラブ】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

協議会設置、
検討開始

受け皿団体や
指導者の選定、
拠点校の選定

指導者の確保、
運営補助体制
の折り合いがつか
ない等で実現
せず

令和6年

協議会を設置、
検討（継続）

合同部活動の開
始

令和7年

活動開始

●ステークホルダー

推進委員会、市教委、コーディネーター

●経過

令和5年度より推進委員会を設置し、指導者の確保及び選定、会場の選定、市の運営補助体制について協議を進めた。

●実施にあたって生じた課題

指導者についてめどがたたなかったり、市の運営補助体制について折り合いがつかなかったりし、クラブ立ち上げを見送る。

●ステークホルダー

推進委員会、市教委、コーディネーター

●経過

合同部活動を開始し、状況を見ながら運営に必要な指導者数等の分析、行政支援について検討等が進んだ。

●実施内容、工夫した点等

推進委員会による各種連盟、団体への働きかけ、市からの行政説明等により、教員による兼職兼業や部活動外部指導者、一般市民による地域クラブ活動指導者の確保が進み、クラブ運営構想に目途が立っていった。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

焼津市地域クラブ活動 推進計画

R7. 1. 31

焼津市教育委大綱の基本理念 「優しく、強く、愛しい人」の育成									
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	平日は「学校部活動」 休日は「地域クラブ活動」			平日も「地域クラブ活動」					
在り方検討委員会 校長代表、教頭代表 教員代表(中体連) 市P代表、部活動指導員 クラブチーム、地域クラブ 市 スポーツ協会、スポーツ課 文化振興課、スマイルライフ 推進課	全体方針・方向性 要綱作成	運営の注意事項 学校施設の利用 スポーツ課参加	申し合わせ事項 文化振興課参加	推進計画の見直し 地域クラブ活動の ガイライン作成 スマイルライフ推進課参 加 平日への拡大の ための条件調査① R6開設クラブ	休日の地域クラブの平日への拡大 平日の活動を開始している地域クラブ ・やいづ柔道倶楽部 月・水・金 19:00～21:00など ・焼津AC 火・木 17:00または17:30～ ・焼津水夢クラブ 火・水 18:30～20:30 ・焼津高校Saltar 水 19:00～20:00 ・静岡ジュニアレスリングクラブ 水 16:30～19:00 平日への拡大の ための条件調査② R7開設クラブ	平日開設できていない 地域クラブの条件整備 条件の整ったクラブから開始 + 美術、科学など平日開催を促る 文化連盟 中学生の受入可の団体は？			
各種目推進委員会 (学校・地域) 校長代表(種目責任者) 教員代表、協会等 学校教育課	柔道 剣道 相撲 ニュースポーツ 海洋	陸上 テニス 卓球 水泳 トランポリン レスリング eスポーツ	野球 サッカー バスケットボール バレーボール 吹奏楽 クラシックハレエ よさこい フラダンス 書道	野球 サッカー バスケットボール 女子バレーボール 吹奏楽	吹奏楽(継続) 11月開設まで 平日の地域移行 推進委員会(月1) を設置したい 学校教育課、スポーツ課 文化振興課、スマイルライフ 推進課	「学校からの大会参加」が求められる状況が解 消されるか。 地域クラブが開設された後も、大会には、教員 が引率し、学校として参加することになる。			
事務局	学校教育課	学校教育課	学校教育課	学校教育課	学校教育課	新組織	新組織	新組織	
活動を開始した 地域クラブ (社会教育)	やいづ柔道倶楽部 剣道 焼津館 やいづ相撲クラブ レクスボ焼津 やいづ海洋クラブ	焼津アスレチッククラブ(陸上) 焼津ジュニアテニスクラブ やいづ卓球クラブ 焼津水夢クラブ 焼津高校Saltar 静岡ジュニアレスリング 焼津eスポーツクラブ	焼津ハレーボールクラブ(男子) 書学クラブ 焼津クラシックハレエ やいづよさこい倶楽部 焼津フラダンスクラブ	野球 サッカー バスケットボール 女子バレーボール 吹奏楽 ボーイスカウト 練功倶楽部 (太極拳) みんなのASOBI (総合型スポーツクラブ)	中体連大会終 11月～ 5月	令和7年度リーフレットに明示する			

学校部活動終了

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

静岡県 掛川市

自治体名：掛川市教育委員会

担当課名：教育政策課

電話番号：0537-21-1109

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	265.7 km ²
人口	115,044 人
公立中学校数	9 校
公立中学校生徒数	3,165 人
部活動数	97 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	推進計画は策定済 ガイドラインは策定中

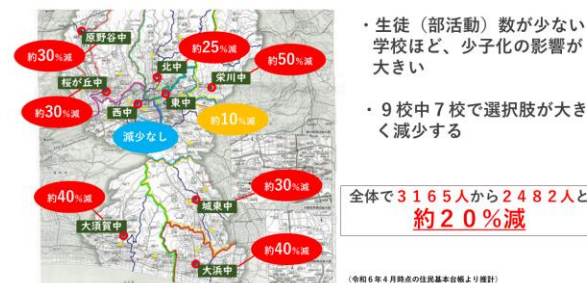
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市においては、人口減少とともに生徒数も減少傾向にあり、約10年後には約20%も減少する見込みである。市内の9中学校においては、規模の小さい郊外の中学校ほど減少が大きく、約50%減少する学校もある。また、令和6年秋の新チームからは、運動部で10部、文化部で2部が単独でチームを編成することができず、日々の練習、大会やコンクール出場が困難な状態である。そのため、令和8年夏に市内の全9中学校の全部活動の活動を終了し、その際、子どもが多種多様なスポーツ・文化芸術活動の機会を選択できるよう、様々な地域団体等が運

営する「（仮称）かけがわ地域クラブ」の創設を目指している。

NPO法人掛川市スポーツ協会が運営主体となる地域クラブについては、令和8年夏までには、軟式野球やサッカーなど、28の地域スポーツクラブ創設が完了する予定である。なお、令和6年度末現在、その内4つの地域スポーツクラブを創設し、先行モデルとして実証研究を進めている。

約10年後の中学校の生徒数



単独チームが難しい部活動（令和6年度新チームより）

[illegible]

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	9 校	実施した地域クラブ総数	1 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1 クラブ（サッカー 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		放課後のマルチスポーツ活動
全体の指導者数	3 人	全体の運営スタッフ数	2 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
FC掛川 South クラブ	スポーツ 協会	サッカー	月 3 回	19時～ 21時 9 時～ 11 時	中学 1、2 年生	令和 6 年 4 月～ 令和 7 年 3 月	大淵小学校 大須賀中学校 大東総合 グラウンド	3 人	2 人 （他クラブと兼 任）	月会費 8,000円 年会費 3,800円	中体連 協会大会
放課後のマ ルチスポーツ 活動	スポーツ 協会	マルチスポーツ	18 回 （各校 2 回）	15時～ 16 時	中学 1、2 年生	令和 7 年 1、2 月	市内中学 校	5 人 （各種目 1 人）	1 人 （他クラブと兼 任）	0 円	なし

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 11月15日、22日 12月1日、6日 1月17日、24日 2月7日、16日 FC掛川South体験会実施

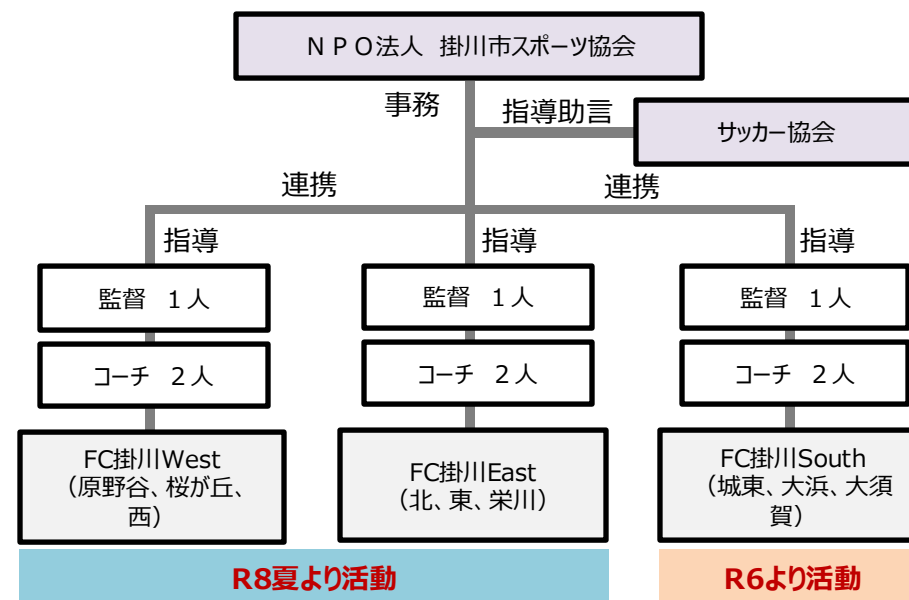
2.実証内容と成果

主な取組例

掛川市スポーツ協会 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー、マルチスポーツ活動
運営団体名	掛川市スポーツ協会
期間と日数	サッカー：5月1日～3月29日 月12回程度 マルチ：1月9日～2月28日 各校2回（計18回）
指導者の主な属性	会社員
活動場所	大東総合グラウンド、各中学校
主な移動手段	自転車、自動車
1人あたりの参加会費等（年額）	サッカー：63,800円 マルチスポーツ：0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：活動における管理者として、指導者、保護者との連携を行う。

●監督 1名

役割：活動における指導者として、児童生徒への指導を行う。

●コーチ 2名

役割：活動において、監督の補助として、指導を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 部活動の受け皿となるクラブを中心に関係団体・市区町村との連携調整・指導助言等を行う、統括コーディネーターを1名配置する。
- かけがわ地域クラブ設立に向け、運営体制の整備や人材の確保など、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う。
- 参加者管理、会費徴収、参加者・指導者への連絡、会場の確保・調整、会計業務にICTを活用（使用アプリ：スグラム）

取組の成果

- 統括コーディネーターを配置したことにより、関係団体との連絡調整・会議運営等を円滑に行うことができた。
- 部活動の受け皿となるサッカークラブや、放課後のマルチスポーツ活動において、指導者や会場責任者等との効果的な連携を図り、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行うことができた。
- ICTの活用により、指導者や保護者からも「時間を気にすることなく連絡ができ、会費の支払いについても便利になった」という声があった。

コーディネーターの具体的な動きの実績

・部活動の受け皿となるクラブを中心に、令和8年夏の地域クラブ創設に向けた指導者会議を年5回程度開催し、創設する各地域クラブにおける指導方針や年間計画等を協議し、課題と成果をまとめた。また、それらをかけがわ地域クラブ設立連絡協議会で報告し、各種団体と共有した。

今後の課題と対応方針

・各クラブの実施主体を支える競技団体の多くは、役員の高齢化が深刻である。そのため、指導を希望する教職員等と連携し、持続可能な組織体制となるように、競技団体の在り方を検討する必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

- ・令和2年度より人材バンクを設置し、指導者の確保に努める。
- ・指導者に対して、資質向上を図るため、年3回研修を開催している。

人材バンクの人数

65名

人材バンクの年齢構成

10代	0名
20代	12名
30代	14名
40代	5名
50代	18名
60代以上	16名

登録者属性

職業	
会社員	35名
自営業	9名
学校関係	3名
公務員	3名
フリーター	2名
学生	2名
主婦	1名
無職その他	10名

種目

- ・野球
- ・剣道
- ・ソフトボール・科学
- ・新体操
- ・卓球
- ・文化
- ・ソフト、硬式テニス
- ・バスケットボール
- ・陸上競技
- ・吹奏楽
- ・ダンス
- ・サッカー
- ・空手
- など

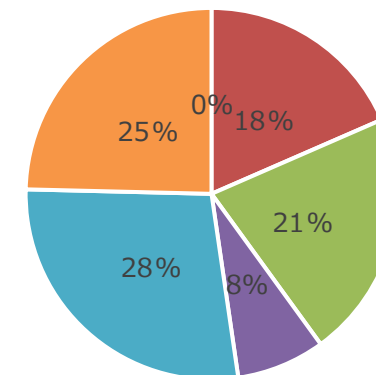
資格有無

- ・部活動指導員
- ・公認地域クラブ指導者
- ・スポーツ少年団指導者
- ・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者
- ・サッカー指導者ライセンス
- など

取組の成果

- ・人材バンク指導者を、65名確保した。 ※令和6年度は、12名確保
- ・年3回、指導者研修を実施した。
- ・65名が、3回の研修を受講した。 ※動画での受講も含む
- ・動画での配信を行ったり、研修の時間帯を夜の時間帯に設定したりして、研修をできる限り受講できるように工夫した。
- ・部活動指導員20名を任用したことで、部活動顧問の負担軽減につながった。
- ・人材バンクの指導者を、各競技団体や掛川市スポーツ協会へ推薦し、公認地域クラブの指導者につながった。

指導者年齢層



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60歳以上

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

- ・対象：部活動指導員、公認地域クラブ代表者・指導者、地域指導者
- ・目的：すべての地域指導者が専門性の高い技術指導に加え、安全・安心な指導、そして、豊かな人間形成をねらった教育的指導を行うことで、従来の学校部活動以上に質の高い指導体制を整えることを目的とする。

【安全管理研修】

- ・内容：救命救急講習を消防署で実施。心肺蘇生法の実技と座学を行った。

【資質向上研修】

- ・内容：大学の先生を講師として招き、コーチング理論について学んだ。

【子ども理解研修】

内容：今の子どもたちの実態を理解し、実態を踏まえ、シミュレーション研修を実施した。

指導者研修の参加実績

- ・開催日： 5月26日（日）安全管理研修
8月5日（月）資質向上研修
8月28日（水）子ども理解研修
- ・開催回数： 3回
- ・参加人数： 20～40人程度（各研修）

受講者の声

【研修を受講された方の感想】

- ・資質向上研修を受講して、「コーチ」とはどうあるべきか、見直すことができた。クラブ会員との関わり方や声の掛け方を見直していきたい。
- ・子ども理解研修を受講して、現在の子どもの実態を理解することができた。各事例をもとに、グループで対応方法を検討することで、場面に応じた指導方法を学べた。
- ・安全管理研修を受講して、心肺蘇生法とAEDの使い方を理解した。現在クラブでの活動を行っている中で、熱中症への対応が多いので、次年度の研修では、熱中症への対応方法を学んでいきたい。
- ・それぞれの研修で実践的な指導方法を学べたので、来年度以降はもっと早いタイミングで研修を実施してほしい。

今後の課題と対応方針

- ・平日だと仕事の都合上、参集型の研修に参加できなかった方がいた。
- ・研修に参加できなかった方には、動画を視聴し、レポートを提出して研修の受講を認定したが、指導者の方の年齢層が高く、ICTでの対応に苦慮したケースが多かった。
- ・もっと早い時期に研修を行って欲しいという意見があり、来年度は、5月末までに研修を開催する方向で調整している。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

○学校と連携して進めていくため、年5回の小中学校校長会で説明した。また、小学校校長会1回、中学校校長会2回において、詳細な内容を説明した。

○市内9中学校の新入生説明会において、令和8年夏に設立される、かけがわ地域クラブ等を説明した。

○各種目の理事会等において、かけがわ地域クラブ等を説明した。

取組の成果

○小中学校校長会、小学校校長会、中学校校長会において、行政、地域、学校、家庭等が担う役割を説明し、掛川市が目指す、市民総ぐるみの地域展開を周知した結果、募集チラシの配布や学校施設の利用等の協力を得ることができた。

○各校の協力を得て、新入生説明会において説明を行ったことにより、市内の小学6年生と保護者に、掛川市が目指す、市民総ぐるみの地域展開を周知することができた。

○各種目の会長や理事長の要望に応え、理事会の中で、かけがわ地域クラブ等の説明をする時間を設け、理事や指導者等に、掛川市が目指す、市民総ぐるみの地域展開を周知することができた。

バス等の運行実績

なし。

バス等の運航経費・収入

なし。

今後の課題と対応方針

○競技団体の多くは、役員の高齢化が深刻である。そのため、指導を希望する教職員等と連携し、持続可能な組織体制となるように、競技団体の在り方を検討する必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

○サッカーにおいては、市内の南北で3クラブ創設する予定であり、サッカー部がない南部地域では、FC掛川Southを早期創設した。
 ○参加範囲については、会場や指導者の関係で設定しているが、参加者の事情等により、配慮する。

各自治体の役割

○他市との連携なし

移動手段

○各自（自転車・自動車）

事務局運営の方法

○掛川市スポーツ協会が事務局となる。

取組の成果

○令和8年夏に設立される、かけがわ地域クラブに向けて、サッカークラブを早期に創設した結果、参加者のニーズや中体連等の大会参加における課題等を把握することができた。

今後の課題と対応方針

○令和8年夏までに、市内の全ての運動部活動をかけがわ地域クラブへ展開する。
 ○平日の夜間に活動する会場の確保が課題である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

○かけがわ地域クラブ実施体制案をホームページに公開し、市内の小中学生へのニーズ調査を実施した（9月実施 対象：小学4～中学3年生）。

活動の詳細

参加人数	2,752人（小学生） 2,548人（中学生）	指導者数	0人
属性	小学4～6生（84%） 中学1～3年生（回答率81%）		
具体的な内容	小学生：令和8年夏のかけがわ地域クラブの参加状況等 中学生：部活動の満足度等		

小学6年生【令和7年1年生】（活動状況）

・令和7年春の活動状況（954人）

学校の部活動で活動する
市公認の地域クラブで活動する
市公認の地域クラブ以外のクラブ（硬式野球、サッカー、水泳、ダンスなど）で活動する
教室（ピアノ、書道、プログラミングなど）で活動する
塾や教室（英会話、そろばんなど）で活動する
上記の活動をしない

・・・549人（58%）
・・・189人（20%）
・・・238人（25%）
・・・140人（15%）
・・・141人（15%）
・・・67人（7%）

※複数回答あり

・令和8年夏の活動状況（954人）

市公認の地域クラブで活動する
市公認の地域クラブ以外のクラブ（硬式野球、サッカー、水泳、ダンスなど）で活動する
教室（ピアノ、書道、プログラミングなど）で活動する
塾や教室（英会話、そろばんなど）で活動する
上記の活動をしない

・・・410人（43%）
・・・291人（31%）
・・・152人（16%）
・・・177人（19%）
・・・148人（16%）

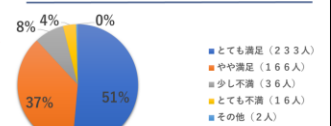
※複数回答あり

文化・スポーツに関するアンケート調査結果（文化部の満足度）

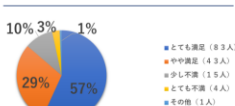
・部活動への加入状況

運動部に所属している 1,677人 ・・・ 66%
文化部に所属している 453人 ・・・ 18%
部活動に所属していない 418人 ・・・ 16%

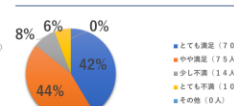
・部活動に満足しているか



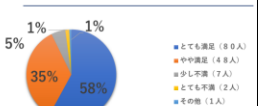
・満足しているか【文化部 3年生】



・満足しているか【文化部 2年生】



・満足しているか【文化部 1年生】



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

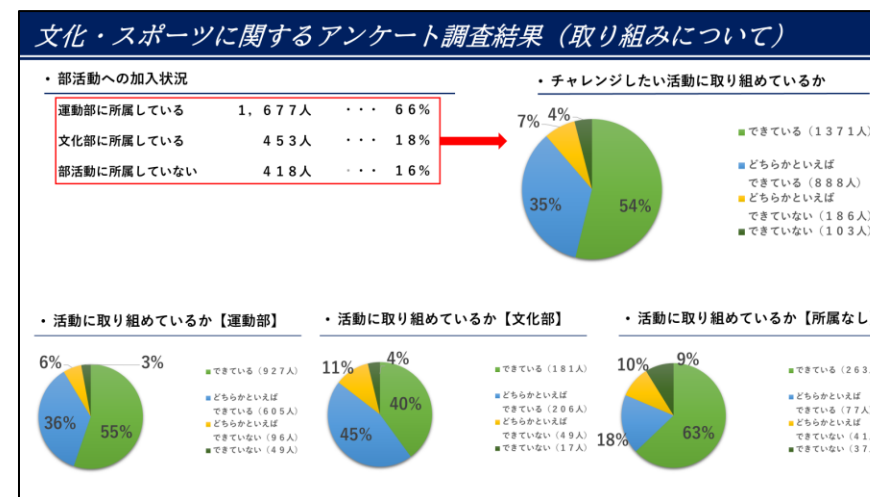
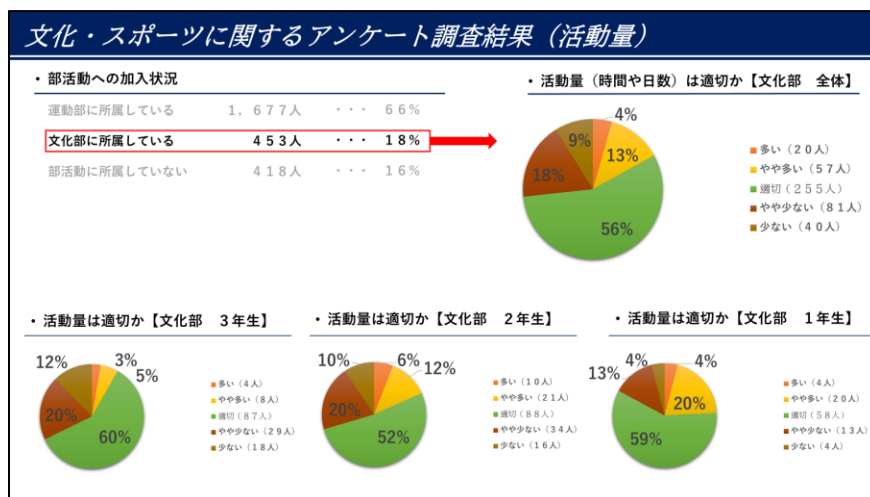


取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

○中学生1年～3年生を対象としたアンケートの結果より、部活動終了時間を教員の勤務時間内で終えることにした影響（令和6年度より実施）は、特に2、3年生にあったことが明らかになった。ただし、例年より活動時間が増えることになる今年度の冬にアンケートを実施した場合は、異なる結果になると予想される。また、「チャレンジしたい活動に取り組めるか」という質問については、部活動でもクラブ活動でも多くの生徒が取り組めていると答えている。



今後の課題と対応方針

○令和8年夏の部活動廃止に向けて、かけがわ地域クラブにおけるガイドラインを協議しているが、種目により練習や大会（コンクール）での活動時間の考えが異なり、適正な基準を設定することが困難である。今後は、かけがわ地域クラブのガイドラインだけでなく、各種協会連や連盟等によるガイドラインや指導方針も踏まえて、各種目に適した活動時

間、内容となるように、関係団体と協議をする必要がある。また、部活動のように1種目のみで活動するという考え方ではなく、複数種目に活動できるように、各クラブの活動においても、月に1、2回活動するクラブやシーズンによって行うクラブ等、多種多様な地域クラブを充実させる方針である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

○実証事業における収支構造の可視化を行い、適切な受益者負担の設定や公的資金のバランスについて検証を行った。

○経済的困窮世帯の児童生徒が、かけがわ地域クラブ活動に参加する場合に、参加費等の一部を減免する等の支援の在り方を検討した。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

サッカークラブ（FC掛川South）

- ・事務局人件費（100千円）
- ・会議費（60千円）
- ・システム整備に係る経費（0千円）
- ・ホームページ構築費用（0千円）

※掛川市スポーツ協会の既存のシステムやホームページを利用しているため。

■ランニングコストの分析

サッカークラブ（FC掛川South）

- ・会場借料（163千円）
- ・事務局人件費（750千円）
- ・指導者謝金（557千円）
- ・消耗品（161千円）
- ・チーム登録料・大会参加料等（76千円）
- ・連絡アプリ使用料等（47千円）

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

令和6年度において、ランニングコストのみで考えると、サッカークラブを運営するためには、およそ175万円必要だった。受益者負担を月5,000円とするなら、各クラブにおいて、年間30人程度の参加者で自走できる試算となる。

収支バランス

令和6年度においては、ランニングコストのみで考えると、サッカークラブにおいて、市区町村委託費が63%、受益者負担が37%だった。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

○実証事業における収支構造の可視化を行い、適切な受益者負担の設定や公的資金のバランスについて検証を行った結果、大会等に参加する場合は、令和6年度と同様の経費で運営できると思われる。そのため、年間30名程度の参加者であれば、サッカークラブにおいては受益者負担のみで自走できると考えられる。

○経済的困窮世帯の児童生徒が、かけがわ地域クラブ活動に参加する場合に、参加費等の一部を減免する等の支援の在り方を検討した結果、現在の市内の対象者は250名程であり、国基準の全額支給（30,150円）を支給する場合は、7,500,000円の財政負担となることが明らかになった。令和8年夏から活動を始めるかけがわ地域クラブの年間活動費用額は、約70,000円であり、今後は適切な支援額の設定や方法を協議する。

・令和7年1月時点の公認地域クラブの平均年間費用額：50,400円
※部活動の受け皿となるクラブになる公認地域クラブは、令和8年夏以降の費用で試算

・令和8年夏以降の部活動の受け皿となるクラブの平均年間費用額：88,700円
※公認地域クラブから創設済みの部活動の受け皿となるクラブは除く
（野球2、バレー5、卓球2、テニス3、バス6、陸上2、サッカー2）の運動22クラブ
（吹奏楽3、デジタル1、美術1、料理1）の文化6クラブ

かけがわ地域クラブの年間活動費用額 平均：69,550円

今後の課題と対応方針

実証事業において、これまでの部活動と同じように大会に出場するサッカークラブでは、年間30名程度の参加者により、受益者負担でも自走できることが明らかになった。しかし、人数が増えることにより、活動場所の問題や成果発表の機会の問題等が考えられるため、令和7年度に収支構造の可視化を行い、適切な受益者負担設定や公的資金のバランスについて検

証を行う必要がある。また、多くの地域クラブは平日の夜間に活動するため、サッカーや軟式野球、陸上競技やソフトテニス等の種目で充実した活動を行うためには、夜間照明等の環境整備が必要になる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

○保護者等に負担が見込まれる受益者負担を低廉な額とすることや、生徒の安全を確保するため、学校体育施設を中心に実証事業の活動を実施するよう調整を行った。

○運営主体となる掛川市文スポーツ協会と拠点会場となる学校を訪問し、事業の協力及び施設の利用について調整を行った。

取組の成果

○運営主体となる掛川市スポーツ協会と拠点会場となる学校を訪問し、理解を高めることで、運営主体及び地域指導者と学校の繋がりを深めることができた。その結果、平日の夜間練習においては、年間を通して、水曜日を大須賀中学校、金曜日を大淵小学校を利用することができた。

別紙1

公認地域クラブの学校体育施設等使用に関する取扱いについて

令和4年9月6日
教育政策課

1 目的・概要

令和4年6月、スポーツ庁「運動部活動の地域移行に関する提言」が提出され、学校の運動部活動を地域へ移行する方向性がとられた。また、令和4年9月、文化庁の文化活動の地域移行に関する検討会議にて、学校の文化活動を地域へ移行するための方向性をまとめた「文化活動の地域移行に関する提言」が提出され、学校の文化活動についても、地域へ移行する方向性がとられた。

両提言の中で、今後、地域の団体が学校施設の受け皿となって活動することになり、生徒が地域においてスポーツや文化芸術等に親しむ機会を確保するための十分な施設を確保することが求められている。

掛川市においても、令和8年度を目標に、学校が管理する部活動を地域団体が管理する活動へと管理体制を完全に移行することを検討しており、すでに、5つの地域団体が「公認地域クラブ」として、将来的な部活動の受け皿となると見込まれ活動を開始している。また、今後は、このような地域団体が部活動で使用している期間に学校体育施設等（学校体育施設等とは、学校の校舎、屋内運動場、屋外運動場並びにこれらに付帯する設備等）を使用することが想定される。

そこで、現在の学校部活動と公認地域クラブの活動が併存する令和8年度までの期間における学校体育施設等の使用について、次のように取り扱うこととする。なお、今後の地域団体の状況により、本取扱いに変更する場合がある。

2 公認地域クラブの学校体育施設等の取扱い（取扱い予定含む）

(1) 掛川文化クラブ 無域域中の新館を使用

3 方針

公認地域クラブの学校体育施設等の利用については、部活動を含む学校教育活動や地域の行事等に支障がない範囲で、学校開放事業における登録団体より優先して認めることとする。

【拠点会場】

原則として、地域団体が学校体育施設等を使用する場合には、学校開放事業として、掛川市立学校体育施設等使用条例及び同条例施行規則に従って施設を使用している。公認地域クラブについては、将来的な部活動の地域移行の受け皿となると期待されているため、学校開放事業として取り扱わず、本資料2ページによる手順により、優先的に貸し出しを実施する。

4 施設使用までのフロー

地域団体から掛川市教育委員会事務局へ申請
申請書の提出
掛川市教育委員会事務局から該当学校へ伝達
学校長と地域団体の協議、調整、貸約書の作成
公認地域クラブの貸約書を作成し、学校長へ提出（印刷版を提出）
学校長は貸し出しを2部作成し、市教委担当課及び公認地域クラブへ送付
施設の使用に必要な場合、学校長は公認地域クラブへ貸し出した履歴を提出
公認地域クラブの学校体育施設等使用の手続き

※施設が必要な施設の場合には、学校が貸し出す。貸し出す場合は、原則として、公認地域クラブが支払うものとする。

5 予約の手続き

学校開放事業が使用開始日の40日前の予約開始であることを踏まえ、公認地域クラブの予約については、原則として、以下のようの手続きを行う。

①公認地域クラブは使用を開始する日の90日前から60日前までの期間において、**貸約書に記載されている予約を受けた範囲内において予約する。**

例) 4月1日から3月31日まで使用する場合
90日前 60日前 4月1日 3月31日
予約開始 予約受付開始 公認地域クラブは予約受付開始から予約開始まで予約可能
例) 9月1日から3月31日まで使用する場合
90日前 60日前 9月1日 3月31日
予約開始 予約受付開始 公認地域クラブは予約受付開始から予約開始まで予約可能

②学校は以上の日程について、他の学校教育活動や部活動などと関係し、貸出不可として学校開放事業の予約簿に記入する。

③学校は、貸出可能な日時を学校開放事業として登録団体に貸し出す。

予約の取扱いについて

・原則として、許可を受けた範囲以外に予約は受け付けず、
例) 毎週日曜日の15時から17時まで、体育館の使用許可を受けている公認地域クラブがそれ

別紙2

公認地域クラブ利用案内 教育政策課 0537-31-1109

この取扱いは、部活動改革の一環として暫定的に実施するものであり、今後の状況によっては変更する場合があります。

3

今後の課題と対応方針

○令和8年夏の部活動廃止後、かけがわ地域クラブの活動は、学校体育施設等を利用する予定である。今後、平日の夜間の活動を充実させるためには、拠点校となる学校体育施設に、夜間照明の設置等の環境整

備が必要になる。そのため、学校施設の利用調整に係る業務を、運営主体となる掛川市スポーツ協会や学校開放事業を担っている文化・スポーツ振興課と連携し進めていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

○令和8年夏のかけがわ地域クラブ創設に向けて、休日だけでなく平日も含めたスポーツ・文化芸術活動への展開に向けた取組等を実施し、課題の抽出や課題解決策の検討等を行った。

取組の成果

○サッカークラブにおいては、平日の夜間の活動も休日の活動も、同じ指導者が指導をすることができた。そのため、年間を通して、一貫した指導を実施することができた。

指導者の属性や配置の工夫

- ・指導者の属性
- 会社員等
- ・配置の工夫
- 複数体制となるように指導者を配置した。

一貫指導に関する部活動顧問との連携事例

- 特になし。

今後の課題と対応方針

○掛川市スポーツ協会が運営主体の部活動の受け皿となるクラブでは、指導方針等を各競技団体が担っている。しかし、競技団体の多くは、役員の高齢化が深刻である。そのため、指導を希望する教職員等と連携し、持続可能な組織体制となるように、競技団体の在り方を検討する必要がある。

2.実証内容と成果①

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

かけがわ地域クラブ設立連絡協議会において、令和6年9月に実施したアンケート結果を基に、令和8年夏に創設される「かけがわ地域クラブ」における、部活動の受け皿となるクラブ数を協議した。各種目においては、現状の部活動数に近いクラブ数を創設する計画であったが、今後の少子化、子どものニーズの多様化、指導者確保の難しさ等により、10年先でも活動できるクラブを目指し、クラブ数、活動日数等を検討することになった。また、かけがわ地域クラブでは、受益者負担により、自走できる運営を目指している。そのため、今年度は部活動の受け皿となるクラブであるサッカークラブの活動から、参加者費用負担の支援等を検討した。そして、部活動廃止後の放課後の活動については、令和6年9月に実施したアンケート結果において、子どものニーズが高かった放課後のマルチスポーツ活動を全中学校で実施し、部活動廃止後の放課後の在り方を検討した。

●成果の評価

かけがわ地域クラブ設立連絡協議会において、令和6年9月に実施したアンケート結果を基に、令和8年夏に創設される「かけがわ地域クラブ」における、部活動の受け皿となるクラブ数を協議した結果、運動部活動の受け皿となるクラブ数を決定することができた。また、子どものニーズに応えるクラブにおいては、すでにバドミントンクラブを市内で4クラブ設立することができており、それ以外のクラブは、市民団体が運営主体となるクラブで対応することになった。令和7年2月時点で、掛川市教育委員会が公認した公認地域クラブは市民団体のクラブが37クラブ（スポーツは24クラブ）あり、今後も、多種多様なクラブが創設されると思われる。

放課後のマルチスポーツ活動を全中学校で実施した結果、種目ごとに適した会場や、子どものニーズが高い種目等を把握することができた。

●今後に向けて

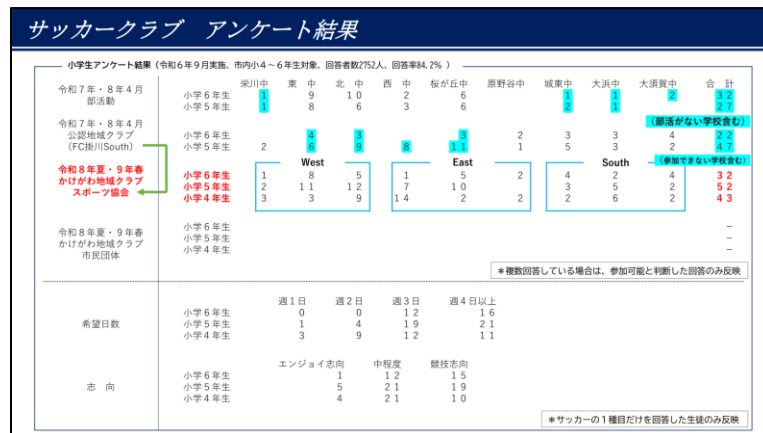
サッカークラブにおいては、100%受益者負担で運営することはできなかった。今後、参加者が増えない場合は、学校施設の利用等以外に、参加費用負担を抑えるためには、企業の協賛や行政の支援が必要になるため、持続可能な運営ができる仕組みを構築する必要がある。

2.実証内容と成果②

アンケート結果・参加者の声

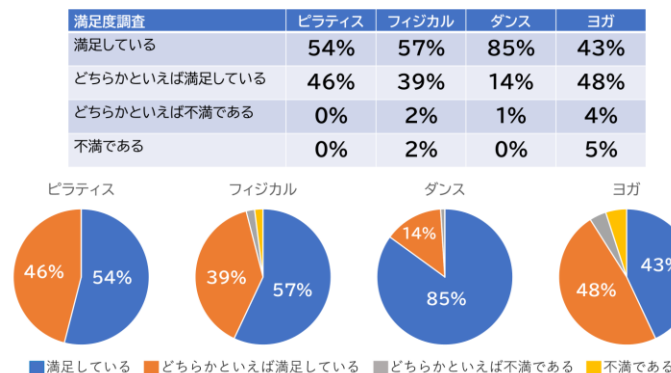
●アンケート結果

Q：令和7、8年の部活動参加希望と、令和7、8、9年度の地域クラブ活動希望について（サッカークラブ）



Q：放課後のマルチスポーツ活動の満足度について（中学生：308人回答）

「放課後スポーツ活動」各種目の満足度調査



●参加者の声

中学1年生（サッカークラブ）

このユニフォームを着ると気持ちが入る。ユニフォームを提供してくれた企業に、試合に勝って恩返したいです。

中学1年生（放課後のマルチスポーツ活動）

普段自分から運動するということがほとんど無いのですが、ダンスフィットネスはとても楽しかったです。教えてくださった方も明るく良い人で、私も思い切りできたと思います。

指導者（サッカークラブ）

少年団の大会における指導者の役割と、地域クラブの大会における指導者の役割が異なり戸惑いました。部活動顧問の先生と同じように大会に参加することは難しいと感じました。

指導者（放課後のマルチスポーツ活動）

今回は部活単位で参加していましたが、次回は競技志向かエンジョイ志向など、目的別の活動にする方が、より効果的だと思います。

2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

掛川市では、令和8年度に部活動を廃止し、新たなスポーツ・文化芸術活動「かけがわ地域クラブ」の環境整備へ向け協議を進めている。

部活動廃止による影響を受ける、令和6年度の小学4年生から6年生には、「かけがわ地域クラブリーフレット」を配付し、活動しているクラブや創設予定のクラブ等を周知した。

また、子どもたちのニーズに応えることのできるクラブ実施体制を整備するため、小学生を対象とするアンケート調査を実施した。



【かけがわ地域クラブリーフレット】

文化・スポーツに関するアンケート調査結果（令和6年9月実施）	
1：目的	掛川市では、令和8年度に部活動を廃止し、新たなスポーツ・文化芸術活動「かけがわ地域クラブ」の環境整備へ向け協議を進めている。子どもたちのニーズに応えることのできるクラブ実施体制を整備するため、小学生を対象とするアンケート調査を実施する。
2：調査対象及び回答率	市内小学生（4～6年生）：3,267人 回答人数：2,752人（回答率84%） 4年生：844人（82%） 5年生：954人（86%） 6年生：954人（84%） 男子：1,354人 女子：1,373人（男女比 50：50） ※調査対象者数は、令和6年5月1日現在の数値を基にした。
3：回答期間及び方法	期間：令和6年9月12日～9月19日 方法：無記名調査Webによるアンケートフォームから回答

文化・スポーツに関するアンケート調査結果（令和6年9月実施）	
1：目的	掛川市では、令和8年度に部活動を廃止し、新たなスポーツ・文化芸術活動「かけがわ地域クラブ」の環境整備へ向け協議を進めている。子どもたちのニーズに応えることのできるクラブ実施体制を整備するため、中学生を対象とするアンケート調査を実施する。
2：調査対象及び回答率	市内中学生：3,165人 回答人数：2,548人（回答率81%） 3年生：852人（82%） 2年生：859人（80%） 1年生：837人（79%） 男子：1,270人 女子：1,235人（男女比 50：50） ※調査対象者数は、令和6年5月1日現在の数値を基にした。
3：回答期間及び方法	期間：令和6年9月12日～9月19日 方法：無記名調査Webによるアンケートフォームから回答

【文化・スポーツに関するアンケート結果】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【サッカークラブ・大会参加】



【放課後のマルチスポーツ活動・ダンスフィットネス】



【サッカークラブ・練習風景】



【放課後のマルチスポーツ活動・ヨガ】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

学校、掛川市スポーツ協会、地域指導者、市長部局、市教委、統括コーディネーター

経過

令和5年度より「かけがわ地域クラブ設立連絡協議会」を設置し、部活動の受け皿となるクラブを中心とするクラブを掛川市スポーツ協会と掛川市文化財団が運営主体となり、その他の多種多様なクラブは市民団体が運営主体となる新たな地域クラブ体制を令和8年夏までに構築する推進計画を作成した。令和6年度には、関係団体とコーディネーター、指導者、行政等で組織する指導者会議を各種目で実施し、クラブ活動の実施体制や指導方針の作成を進めた。

実施内容

掛川市スポーツ協会が運営主体として、部活動の受け皿となるクラブとしてサッカークラブの運営や、放課後のマルチスポーツ活動を実施した。

●実施にあたって生じた課題

種目においては、協会や連盟が指導者を確保することが難しく、指導不足が課題である。そのため、学校や市役所、商工会議所等へ指導者募集の案内を出すなど、今後も統括コーディネーターと連携し、地域人材の確保に努める必要がある。

●今後の展開

令和7年度には、令和8年夏に部活動の受け皿となる全てのクラブにおいて、運営主体となる掛川市スポーツ協会と掛川市文化財団により体験活動を実施する。また、その他の多種多様な地域クラブにおいては、各クラブで体験活動を実施する。この体験会を通して、保護者や児童生徒、学校関係者や各種目の関係者等に理解と協力を得たい。

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

掛川市の部活動改革ロードマップ

令和4年度

- スポーツ庁・文化庁活動の地域移行に関する実践研究参加
- ・市独自の指導者研修制度構築
- ・平日夜間のクラブ活動実証
- ・掛川市文化財団による新たなクラブ創設

部活動地域展開検討委員会設置
部活動地域展開推進計画策定



令和5年度

- かがわ地域クラブ設立連絡協議会設置
- 新たな地域クラブ設置へ向けた
- 種目検討部会設置

令和7年度

- かがわ地域クラブガイドライン策定
- 各種目の実施体制完成
- 各種目の体験会実施

令和6年度

- 種目別指導者会議設置
- 地域クラブサポートセンター設置



2021
令和3年

2026
令和8年

令和3年度

- スポーツ庁・文化庁活動の地域移行に関する実践研究参加
- ・水泳部の地域クラブ試行
- ・吹奏楽部の地域団体連携

地域部活動研究委員会設置



令和4年度

- 公認地域クラブ制度開始
- 学校施設の優先予約制度開始
- 公認指導者資格制度開始
- コーチデベロッパー派遣研修開始

令和6年度

- 公認地域クラブへ企業協賛
(ユニフォーム提供)



令和8年度

- 平日と休日の部活動を廃止
- かがわ地域クラブ活動開始